

MD301BT(1D)／MD302BT(2D)

ユーザーマニュアル

User Manual



3.0.1
2020年5月

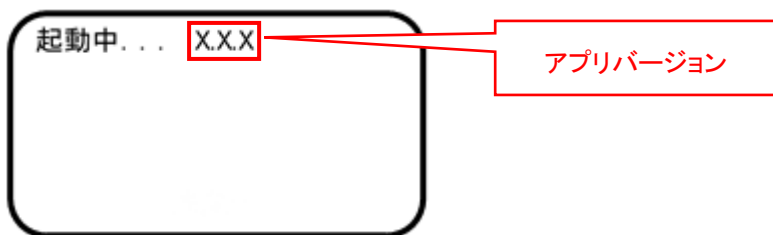
22500202

本書は以下のアプリバージョン以降を対象とします

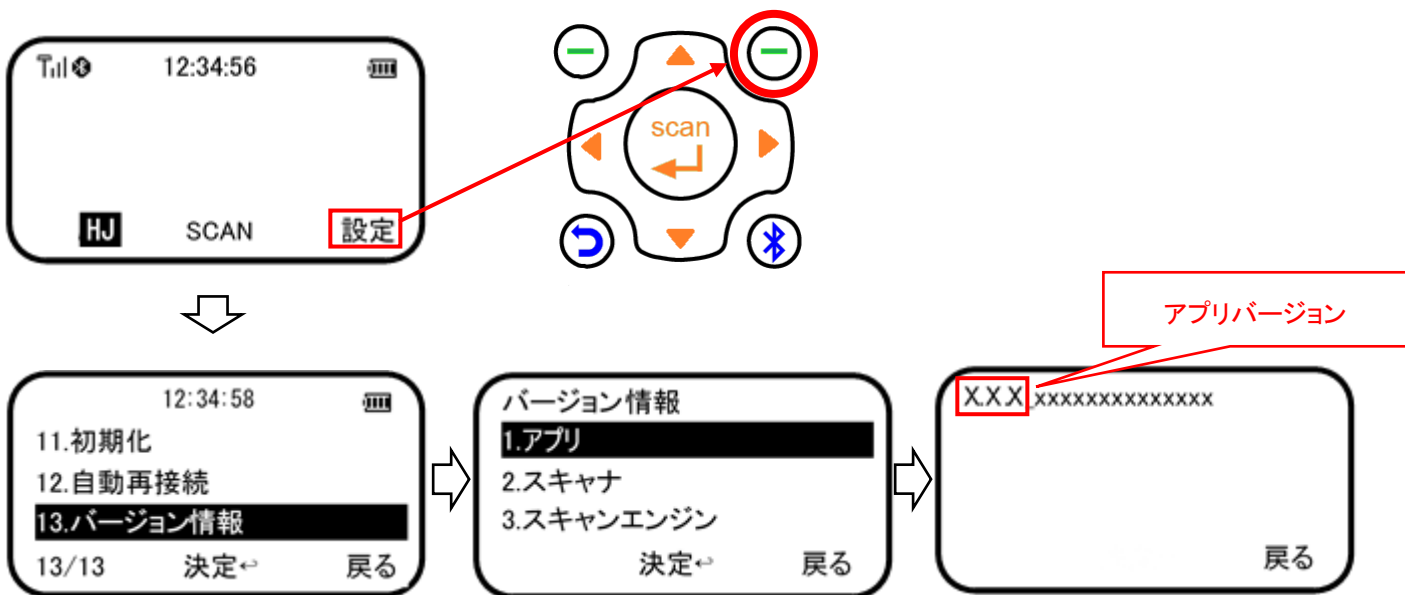
3.0.1

お使いのアプリバージョンは次のいずれかの方法で確認できます

- ① 本体起動中に表示される画面で確認する



- ② 本体起動後、設定メニュー操作で確認する

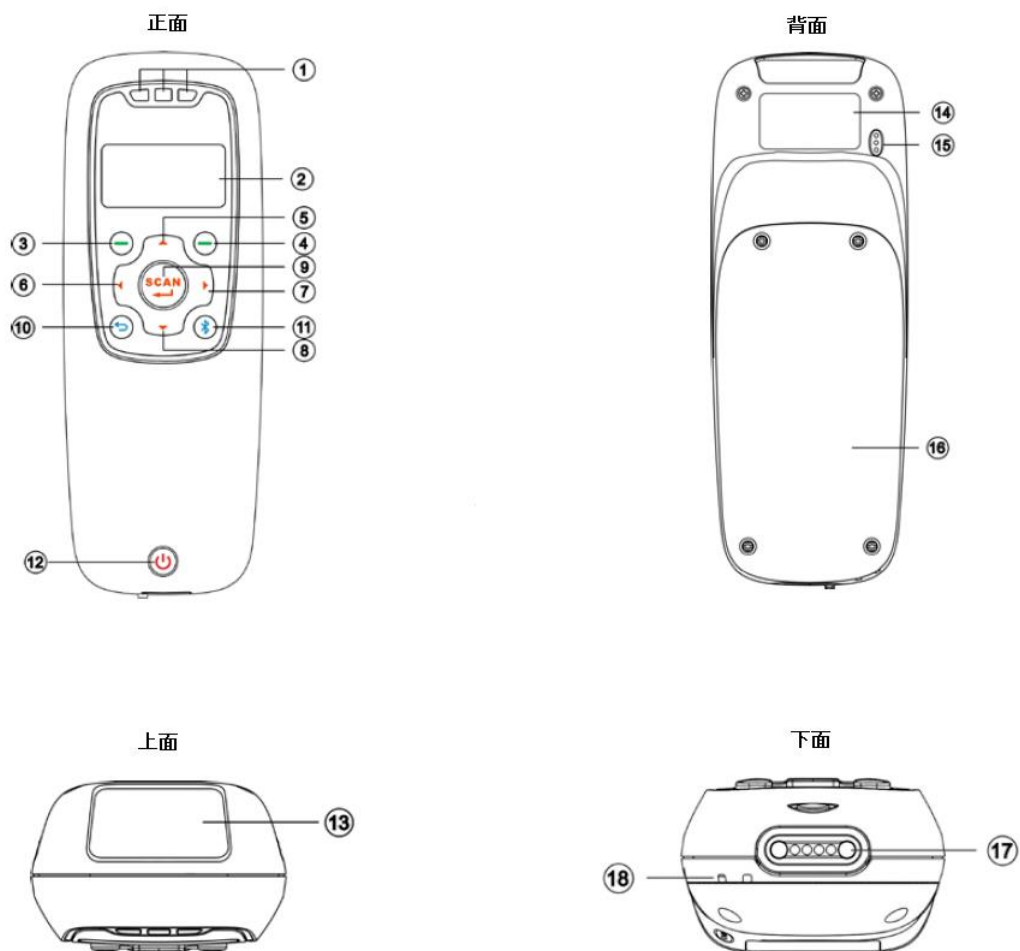


目 次

1	本体各部説明	5
2	使用を開始する	6
2.1	本体の電源 ON/OFF	6
2.2	本体バッテリーの充電	7
(1)	電源の入った PC に接続して充電	7
(2)	充電コネクタに接続して充電	7
2.3	スリープモードに入る／解除する	8
2.4	Bluetooth の ON/OFF	8
2.5	本体バッテリーの取り外し	9
3	スキャン画面／操作	10
3.1	概要	10
(1)	スキャンを開始する	10
(2)	画面説明	10
(3)	キー操作説明	11
3.1.1	アイコン	12
3.2	個数入力の方法	13
3.2.1	個数付加時の個数入力を【↑】／【↓】キーで行う	13
3.2.2	個数付加時の個数入力を手入力で行う	15
4	設定メニュー構成	17
5	設定メニュー項目	22
5.1	データ送信方法	25
5.1.1	HID モード	27
(1)	キーボードレイアウト	29
(2)	接続名変更	30
(3)	切断時蓄積	32
(4)	送信遅延(文字間)	33
(5)	送信遅延(コード間)	35
5.1.2	SPP モード	37
(1)	接続名変更	39
(2)	切断時蓄積	41
(3)	送信遅延(コード間)	42
5.1.3	専用ドングルモード	44
(1)	送信方法を専用ドングルに設定する	44
(2)	専用ドングルに手動で接続する	47
(3)	接続種別を変更(HID→SPP)する	48
(4)	接続種別を変更(SPP→HID)する	50
5.1.4	専用ドングル(HID)の送信オプション設定	52
(1)	送信オプション設定を開始する	52
(2)	キーボードレイアウト	53
(3)	通信ポートの速度	54
(4)	切断時蓄積	55

(5)	送信遅延(コード間)	56
5.1.5	専用 dongle (SPP) の送信オプション設定	58
(1)	送信オプション設定を開始する	58
(2)	切断時蓄積	59
(3)	送信遅延(コード間)	60
5.1.6	データ蓄積 (Batch)	62
(1)	蓄積領域使用状況	64
(2)	蓄積データ消去	68
(3)	送信遅延 (Batch)	70
5.2	画面・スリープ設定	73
(1)	スリープ設定	73
(2)	バックライト点灯時間	75
5.3	時刻・日付設定	77
(1)	時刻を設定する	77
(2)	日付を設定する	80
5.4	付加コード設定	84
(1)	日付付加	84
(2)	時刻付加	86
(3)	個数付加	88
(4)	区切り付加	90
(5)	バーコードを「」で囲む	92
(6)	各種付加データの記録順について	94
5.5	スキャン方法	95
(7)	1D モデルのとき	95
(8)	2D モデルのとき	97
5.6	文字エンコード	99
5.7	ビープ音設定	101
5.8	パイプ設定	103
5.9	蓄積データ操作	105
5.10	送信遅延	106
(1)	送信遅延メニュー表示	106
(2)	送信遅延(文字間)	107
(3)	送信遅延(コード間)	109
(4)	送信遅延 (Batch)	111
5.11	初期化	113
(1)	初期化メニュー表示	113
(2)	初期化(本体)	114
(3)	初期化 (Bluetooth)	115
(4)	初期化(専用 dongle)	116
5.12	自動再接続	117
5.13	バージョン情報	119

1 本体各部説明



番号	名称	番号	名称
①	LED	⑩	【リターン】キー
②	画面	⑪	Bluetooth キー
③	【左上】キー	⑫	電源／スリープキー
④	【右上】キー	⑬	スキャンウィンドウ
⑤	【↑】キー	⑭	ラベル
⑥	【←】キー	⑮	ビープ
⑦	【→】キー	⑯	バッテリーカバー
⑧	【↓】キー	⑰	USB／充電ポート
⑨	【SCAN】キー	⑱	ネックストラップ取付口

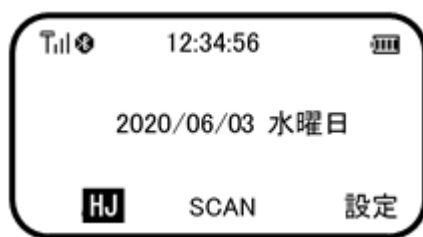
2 使用を開始する

2.1 本体の電源 ON/OFF

電源キーの長押し(2秒ほど)で本体の電源 ON/OFF を行います。



電源を ON にするとスキャン画面を表示します。



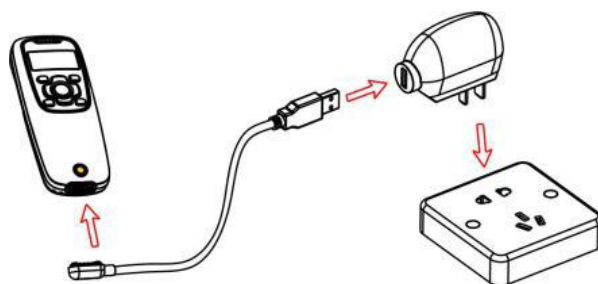
2.2 本体バッテリーの充電

バッテリーの充電を行うには、付属の USB ケーブルを使用し次のいずれかの方法で行うことができます。

(1) 電源の入った PC に接続して充電



(2) 充電コネクタに接続して充電



本体電源が ON の場合、画面の上部に本体が PC に USB 接続されたことを示すアイコン  を表示します。また充電中は本体の充電インジケータ(赤色の LED)が点灯します。充電が完了すると赤色の LED は消灯します(3.5 時間ほどでフル充電になります)。



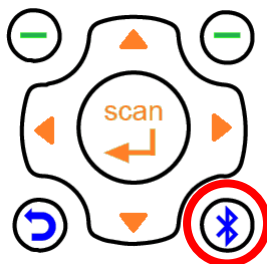
2.3 スリープモードに入る／解除する

電源 ON のときに電源キー  を 0.5 秒ほど押すとスリープモードに入ります。またスリープ状態のときに電源キーを 0.5 秒ほど押すとスリープを解除します。ただし、スキャン方法が「ハンズフリー」のときはスリープモードを使わないでください。



2.4 Bluetooth の ON/OFF

Bluetooth キー  を押すことで Bluetooth の ON/OFF を行えます。



2.5 本体バッテリーの取り外し

項番	説明	図
1.	バッテリーカバーの 4 本のねじを外し、バッテリーカバーを取り外します	
2.	バッテリーパックを持ち上げ本体に接続しているケーブルを抜き、バッテリーパックを取り外します	

3 スキャン画面／操作

3.1 概要

(1) スキャンを開始する

スキャンを開始するには、次の操作を行います。

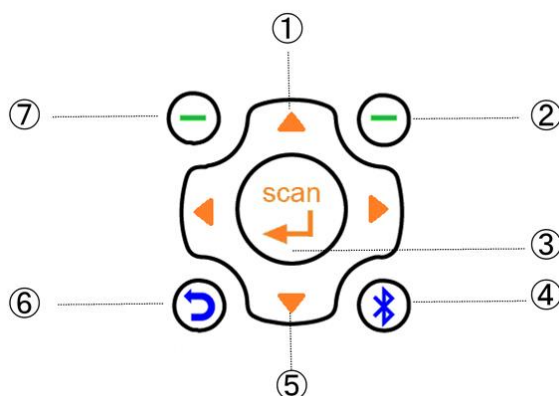
項番	説明	画面
1.	電源ボタン長押しで本体電源を ON にします 電源を ON にするとスキャン画面を表示します	
2.	表示したスキャン画面で【SCAN】キーを押すと、 バーコードを読み取ることができます	

(2) 画面説明



項番	説明
①	Bluetooth 状態 (ON / OFF / 接続中 / 未接続) ※画面は Bluetooth が ON で接続中状態の場合
②	バッテリー残状態
③	読み取ったバーコード
④	データ転送方法等インジケータ ※HJ:「HID モード」でキーボードレイアウトとして「日本語版」選択時の表示例

(3) キー操作説明



項番	説明
①	バーコードを上スクロールする 表示しているバーコードが3行以上のとき、上スクロールするときに使用する
②	各種設定を行うための設定画面を表示する
③	バーコード読み取るときに使用する(※オートスキャン(連続照射)時は除く)
④	Bluetooth の ON/OFF を切り替える
⑤	バーコードを下スクロールする 表示しているバーコードが3行以上のとき、下スクロールするときに使用する
⑥	保守モード画面移行へのパスワード入力画面を表示する ※通常使用する必要はない
⑦	HID モードあるいはデータ蓄積モード時に使用する ・HID モード時: 画面左下にキーボードアイコンが表示され、iOS 接続時は iOS ソフトウェアキーボードの表示／非表示を切り替えることができる ・データ蓄積モード時 Bluetooth に接続すると画面左下に【送信】と表示され、蓄積データの送信を行うことができる

3.1.1 アイコン

画面に表示されるアイコンについて次に示します。

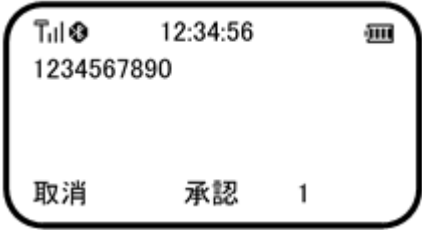
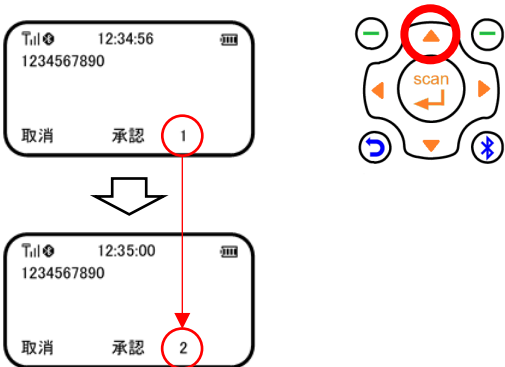
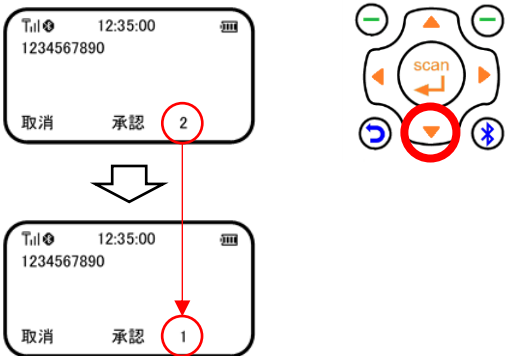
アイコン	説明
	Bluetooth は OFF です
	Bluetooth は ON です
	Bluetooth 接続中です
	バッテリー残量 10%未満です
	バッテリー残量 10%～25%です
	バッテリー残量 25%～50%です
	バッテリー残量 50%～75%です
	バッテリー残量 75%～100%です
	本体が USB ケーブルで PC に接続中です
	HID モードで接続中です ※iOS に接続時【左上】キーを押すとソフトウェアキーボードの表示／非表示を切り替えます
	データ転送方法が「HID モード」です
	データ転送方法が「SPP モード」です
	データ転送方法が「専用 dongle HID モード」です
	データ転送方法が「専用 dongle SPP モード」です
	データ転送方法が「データ蓄積 (Batch) モード」です
	キーボードレイアウトが「日本語版」です
	キーボードレイアウトが「英語版」です
	切断時蓄積が「有効」です

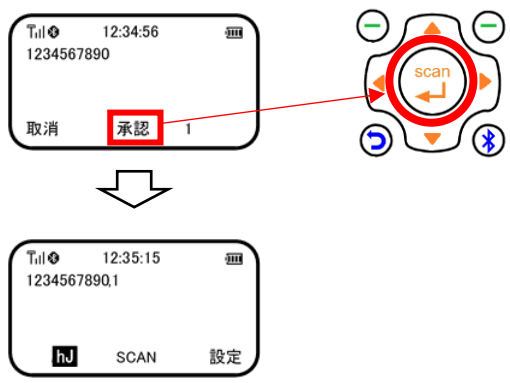
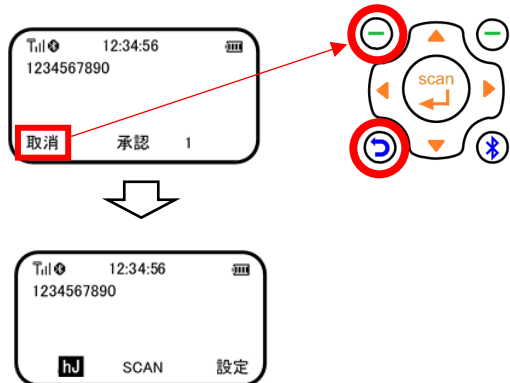
3.2 個数入力の方法

個数付加が設定されているときの、個数の入力方法について説明します。
 個数付加の設定方法については「5.41.1.1(3)個数付加」を参照してください。

3.2.1 個数付加時の個数入力を【↑】／【↓】キーで行う

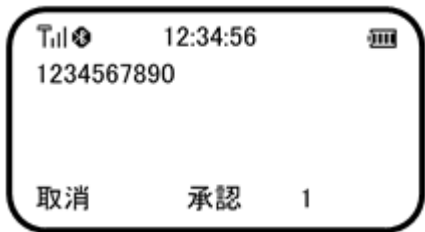
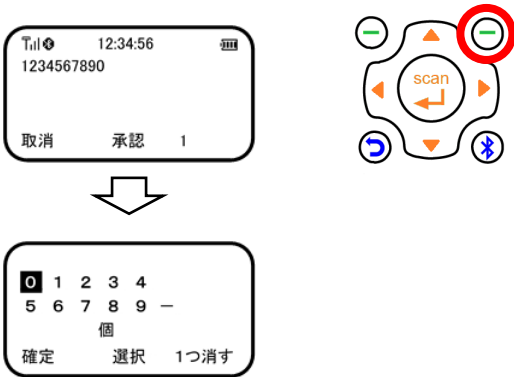
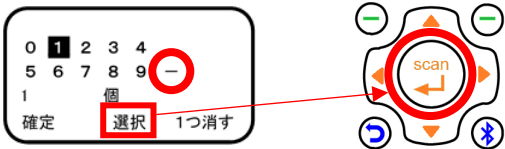
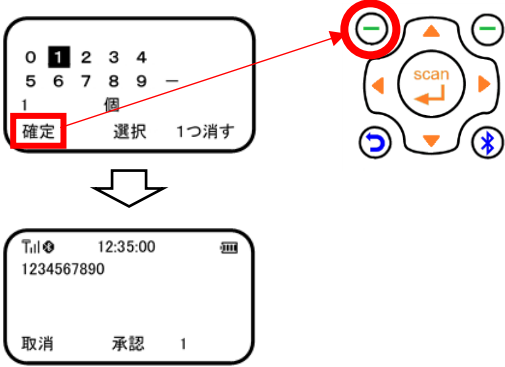
個数付加設定時に個数入力を【↑】／【↓】キーで行うには、個数入力のスキャン画面で次のように操作します。

項番	説明	画面
1.	個数付加設定時にバーコードを読み取ると、個数入力のスキャン画面を表示します	
2.	<u>a) 個数を「+1」する</u> 【↑】キーを押します	
3.	<u>b) 個数を「-1」する</u> 【↓】キーを押します	

項番	説明	画面
4.	c) 個数を承認する 個数入力のスキャン画面で【SCAN】(承認)キーを押すと、データを送信しスキャン画面に戻ります	
5.	d) バーコード送信を中止する 個数入力のスキャン画面で【左上】(取消)キーあるいは【リターン】キーを押すと、データを送信せずにスキャン画面に戻ります	

3.2.2 個数付加時の個数入力を手入力で行う

個数付加設定時に個数入力を手入力で行うには、個数入力のスキャン画面で次のように操作します。

項番	説明	画面
1.	個数付加設定時にバーコードを読み取ると、個数入力のスキャン画面を表示します	
2.	個数入力のスキャン画面で【右上】キーを押すと、個数の手入力画面を表示します	
3.	個数の手入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字またはマイナス記号(－)を選択後、【SCAN】(選択)キーを押して個数を指定します ※指定可能な個数は-99999～99999です ※マイナスの個数を入力したいときは、1桁目にマイナス記号(－)を入力した後に数字を入力してください	
4.	a) 手入力値を確定する 個数の手入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、手入力した個数を確定し個数入力のスキャン画面に戻ります	

項番	説明	画面
5.	b) 最後に入力した文字を取り消す 個数の手入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した文字を取り消すことができます ※【リターン】キーを押すと個数の手入力を中止し、個数入力のスキャン画面に戻ります	
6.	c) 個数を承認する 個数入力のスキャン画面で【SCAN】(承認)キーを押すと、データを送信しスキャン画面に戻ります	
7.	d) バーコード送信を中止する 個数入力のスキャン画面で【左上】(取消)キーあるいは【リターン】キーを押すと、データを送信せずにスキャン画面に戻ります	

4 設定メニュー構成

スキャン画面で【右上】(設定)キーを押すと表示される設定メニューの構成を次に示します。

※項目名の左に (*) が記載されている項目は初期値(本体の「初期化」で設定する値)です

1.データ送信方法	1.HID ※【左上】(設定)キー	1.キーボードレイアウト	1.日本語版(*)
			2.英語版
		2.接続名変更	
		3.切断時蓄積	1.無効(*)
			2.有効
		4.送信遅延	1.文字間
			1.0ms
			2.8ms(*)
			3.16ms
			4.カスタム
			2.コード間
			1.0ms
			2.100ms(*)
			3.300ms
			4.カスタム
	2.SPP ※【左上】(設定)キー	1.接続名変更	
		2.切断時蓄積	1.無効(*)
			2.有効
		3.送信遅延(コード間)	1.0ms
			2.100ms(*)
			3.300ms
			4.カスタム

3.専用 dongle ※【左上】(設定)キー	1.HID	1.キーボードレイアウト	1.日本語版(*)
			2.英語版
		2.通信ポートの速度	1.高速(*)
			2.中速
			3.低速
		3.切断時蓄積	1.無効(*)
			2.有効
		4.送信遅延(コード間)	1.0ms
			2.100ms(*)
			3.300ms
			4.カスタム
	2.SPP	1.切断時蓄積	1.無効(*)
			2.有効
		2.送信遅延(コード間)	1.0ms
			2.100ms(*)
			3.300ms
			4.カスタム
4.データ蓄積 (Batch)	1.蓄積領域使用状況	送信 ※【SCAN】キー	
		消去 ※【左上】キー	1.する
			2.しない(*)
		2.蓄積データ消去	1.する
			2.しない(*)
		3.送信遅延 (Batch)	1.0ms
			2.300ms(*)
			3.500ms
			4.カスタム

2.画面・スリープ設定	1.スリープ設定	1.1 分
		2.5 分(*)
		3.10 分
		4.なし
	2.バックライト点灯時間	1.10 秒
		2.30 秒(*)
		3.60 秒
		4.常時点灯
3.時刻・日付設定	1.時刻	
	2.日付	
4.付加コード設定	1.日付付加	1.無効(*)
		2.有効
	2.時刻付加	1.無効(*)
		2.有効
	3.個数付加	1.無効(*)
		2.有効
	4.区切り文字	1.カンマ(*)
		2.タブ
		3.なし
	5.バーコードを「」で囲む	1.無効(*)
		2.有効
5.スキャン方法	1.トリガーモード(*)	
	2.グッドリード	
	3.オートスキャン(1D モデルのみ)	
	3.ハンズフリー(2D モデルのみ)	

6.ビープ音設定	1.大
	2.中(*)
	3.小
	4.OFF

7.パイプ設定	1.有効(*)
	2.無効

8.蓄積データ操作	送信
-----------	----

消去	1.する
	2.しない(*)

9.送信遅延	1.文字間	1.0ms
		2.8ms(*)
		3.16ms
		4.カスタム

2.コード間	1.0ms
	2.100ms(*)
	3.300ms
	4.カスタム

3.Batch	1.0ms
	2.300ms(*)
	3.500ms
	4.カスタム

10.初期化	1.本体
	2.Bluetooth
	3.専用 dongle

11.自動再接続	1.有効(*)
	2.無効
12.バージョン情報	1.アプリ
	2.スキャナ
	3.スキャンエンジン

5 設定メニュー項目

項番	項目	説明
1.	データ送信方法	スキャン時のデータ送信方法を選択します データ送信方法には次のものがあります (1) HID (2) SPP (3) 専用 dongle (HID) (4) 専用 dongle (SPP) (5) データ蓄積 (Batch) ※操作方法については「5.1 データ送信方法」を参照してください
2.	画面・スリープ設定	スリープおよびバックライト時間の設定を行います ※操作方法については「5.2 画面・スリープ設定」を参照してください
3.	時刻・日付設定	本体の時刻や日付の設定を行います ※操作方法については「5.3 時刻・日付設定」を参照してください
4.	付加コード設定	付加コードの設定を行います ここで設定する項目は次のとおりです (1) 日付付加 送信するバーコードに日付を付加します (2) 時刻付加 送信するバーコードに時刻を付加します (3) 個数付加 送信するバーコードに個数を付加します (4) 区切り文字 付加するデータの区切り文字 (カンマ / タブ / なし) を指定します (5) バーコードを「”」で囲む 送信するバーコードを「”」で囲んで送信します 指定すると改行コードなどを含むデータをスキャンしたときに、送信したバーコードの範囲が明確になります ※操作方法については「5.4 付加コード設定」を参照してください

項番	項目	説明
5.	スキャン方法	スキャン方法を選択します スキャン方法には次のものがあります (1) トリガーモード 【SCAN】ボタン押下で照射を開始し、【SCAN】ボタンの押下をやめることで照射を終了する (2) グッドリード 【SCAN】ボタンを押すと一定時間照射する (3) オートスキャン(1D のみ) 連続照射する(【SCAN】ボタンを押す必要なし) (4) ハンズフリー(2D のみ) スキャンウィンドウの前にバーコードをかざすと自動で一定時間照射する(【SCAN】ボタンを押す必要なし) ※操作方法については「5.5 スキャン方法」を参照してください
6.	文字エンコード	スキャンするデータの文字エンコードを指定します 設定できる文字エンコードは次のものがあります (1) Shift-JIS (2) UTF-8 ※操作方法については「5.6 文字エンコード」を参照してください
7.	ビープ音設定	ビープ音を次の項目から設定します (1) 大 (2) 中 (3) 小 (4) OFF ※操作方法については「5.7 ビープ音設定」を参照してください
8.	パイプ設定	パイプを使用するかどうか(有効/無効)を設定します ※操作方法については「5.8 パイプ設定」を参照してください
9.	蓄積データ操作	本体に蓄積しているデータの、使用サイズ(バイト)の確認/消去/送信を行うことができます ※操作方法については「5.9 蓄積データ操作」を参照してください

項番	項目	説明
10.	送信遅延	送信遅延の時間を指定します 送信遅延項目には次のものがあります (1) 文字間 (2) コード間 (3) Batch 転送時 ※操作方法については「5.10 送信遅延」を参照してください
11.	初期化	次の項目の初期化を行うことができます (1) 本体 初期化後の内容は「4 設定メニュー構成」に記載している初期値を参照してください (2) Bluetooth 初期化すると Bluetooth の内容を以下に変更します ・データ転送方法: HID ・接続名: MDBT (3) 専用 dongle 初期化すると専用 dongle の内容を以下に変更します ・データ転送方法: 専用 dongle (HID) ・キーボードレイアウト: 日本語版 ・通信ポートの速度: 高速 ※操作方法については「5.11 初期化」を参照してください
12.	自動再接続	Bluetooth の自動再接続を行うかどうか(有効/無効)を設定します ※操作方法については「5.12 自動再接続」を参照してください
13.	バージョン情報	次の情報のバージョンを調べることができます (1) アプリ (2) スキャナ (3) スキャンエンジン ※操作方法については「5.13 バージョン情報」を参照してください

5.1 データ送信方法

Bluetooth 接続でデータ送信を行う方法を指定します。
データ送信には次の方法があります。

項番	方法 ※対象 OS	説明
1.	HID ※Win/Mac/iOS/Android	PC 内蔵等の Bluetooth モジュールを使用し HID キーボードとして接続します 専用アプリケーションを使用しなくても、送信先にキーボード入力としてデータを送信します ※設定方法については「 5.1.1 HID モード 」を参照してください ※漢字等の文字を含むバーコードは送信できません(文字化けして送信します)
2.	SPP ※Win	PC 内蔵等の Bluetooth モジュールを使用しシリアルポート通信として接続します シリアルポート通信アプリ(※)経由で、送信先にデータを送信します ※設定方法については「 5.1.2 SPP モード 」を参照してください ※漢字等の文字(Shift-JIS/UTF-8)を含んだバーコードの送信が可能です(本体と通信アプリで文字エンコードの設定が必要です)
3.	専用 dongle(HID) ※Win/Mac	MD301BT および MD302BT 専用の Bluetooth モジュール(MD30BA)を使用し HID キーボードとして接続します 専用アプリケーションを使用しなくても、送信先にキーボード入力としてデータを送信します ※設定方法については「 5.1.3 専用 dongle モード 」を参照してください ※漢字等の文字を含むバーコードは送信できません(文字化けして送信します)
4.	専用 dongle(SPP) ※Win	MD301BT および MD302BT 専用の Bluetooth モジュール(MD30BA)を使用しシリアルポート通信として接続します シリアルポート通信アプリ(※)経由で、送信先にデータを送信します ※設定方法については「 5.1.3 専用 dongle モード 」を参照してください ※漢字等の文字(Shift-JIS/UTF-8)を含んだバーコードの送信が可能です(本体と通信アプリで文字エンコードの設定が必要です)

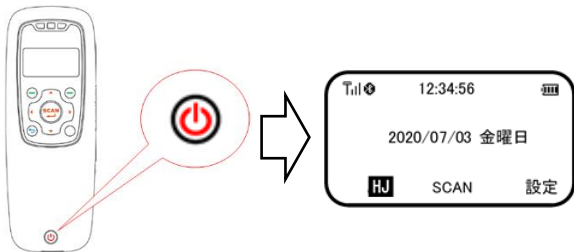
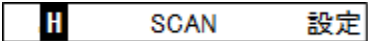
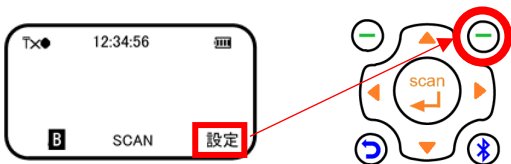
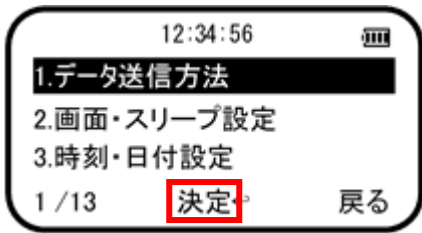
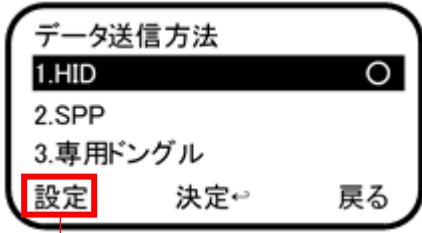
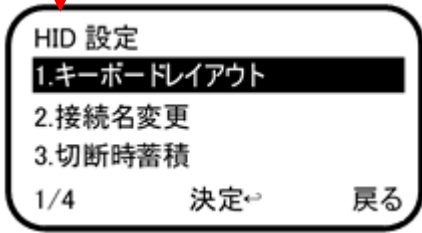
項番	方法 ※対象 OS	説明
5.	データ蓄積 (Batch)	読み取ったデータを一旦本体に保存します 保存したデータは Bluetooth 接続したときに、まとめて送信することができます ※設定方法については「5.1.6 データ蓄積 (Batch)」を参照してください

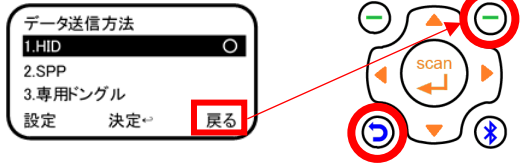
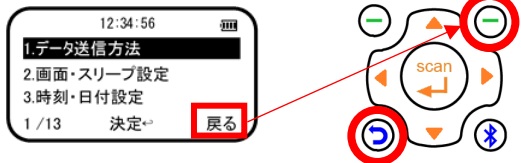
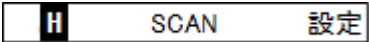
(※) Windows 用のシリアルポート通信アプリ (COM_Text) を弊社サポートページからダウンロード可能です

5.1.1 HID モード

・送信方法を設定する(HID)

データ送信方法を「HID」にするには次のように行います。

項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面の下部に「H」のアイコンが表示されているときは、すでに HID モードに設定されているため、以降の操作は必要ありません	
3.	スキャン画面の下部に「H」のアイコンが表示されていないときは、スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
4.	設定メニューで「1. データ送信方法」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、データ送信方法画面を表示します	
5.	データ送信方法画面で「1. HID」選択後【SCAN】(決定)キーを押し HID モードに設定します データ送信方法画面で「1. HID」を選択(反転)した状態で【左上】(設定)キーを押すと、HID 設定画面を表示します	
6.	HID 設定画面では、送信オプションの設定を行います) ※送信オプションの設定については「 <u>・送信オプションの設定(HID)</u> 」を参照してください	

項番	説明	画面
7.	データ送信方法画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと設定メニューに戻ります	
8.	設定メニューで【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン画面に戻ります	
9.	HID モードに設定すると、スキャン画面の下部に「H」のアイコンを表示します	

・送信オプションの設定(HID)

「HID」送信オプションには次のものがあります。

- 1) キーボードレイアウト
- 2) 接続名変更
- 3) 切断時蓄積
- 4) 送信遅延(文字間／コード間)

HID 設定画面における各種送信オプションの設定方法を以降に記載します。

(1) キーボードレイアウト

キーボードレイアウトを設定するには次の操作を行ってください。

項番	説明	画面
1.	データ送信方法画面で「1. HID」を選択(反転)した状態で【左上】(設定)キーを押し、HID 設定画面を表示します	
2.	HID 設定画面で「1. キーボードレイアウト」を選択し【SCAN】(設定)キーを押します	
3.	<u>a) 日本語版にする</u> 「1. 日本語版」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します 「日本語版」に設定すると、スキャン画面の下部に「J」のアイコンを表示します	
	<u>b) 英語版にする</u> 「2. 英語版」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します 「英語版」に設定すると、スキャン画面の下部に「U」のアイコンを表示します	

(2) 接続名変更

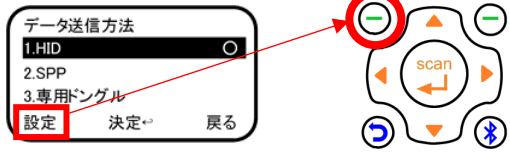
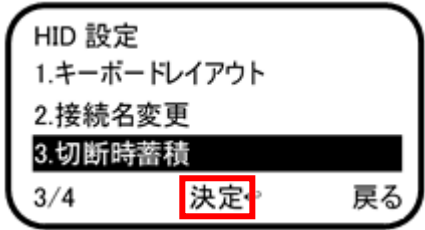
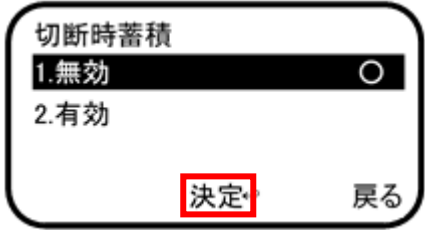
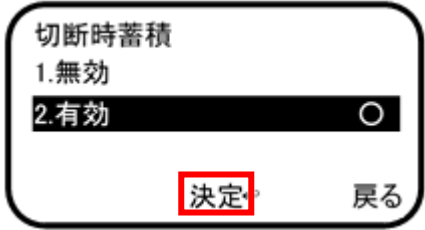
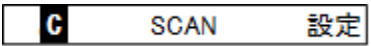
Bluetooth 接続名を変更するには次の操作を行ってください。

項番	説明	画面
1.	データ送信方法画面で「1. HID」を選択(反転)した状態で【左上】(設定)キーを押し、HID 設定画面を表示します	
2.	HID 設定画面で「2. 接続名変更」を選択し【SCAN】(設定)キーを押します	
3.	接続名変更確認画面を表示します 【左上】(はい)キーを押すと、接続名入力画面を表示します 【右上】(いいえ)キーを押すと、HID 設定画面に戻ります	
4.	接続名入力画面を表示します	
5.	接続名入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字あるいは文字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します ※入力可能最大文字数は <u>10</u> です	

項番	説明	画面
6.	a) 入力データを確定する 接続名入力画面で【左上】(確定)キーを押します	
7.	再起動要求画面を表示します 接続名変更を確定するために再起動を行ってください ※再起動要求画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとHID設定画面に戻り、その他のオプション設定を行うことができますが、それらの設定終了後は必ず再起動を行い接続名変更の確定をしてください	
8.	b) 最後に入力した文字を取り消す 接続名入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に入力した文字を取り消すことができます ※【リターン】キーを押すと接続名入力を中止しHID設定画面に戻ります	

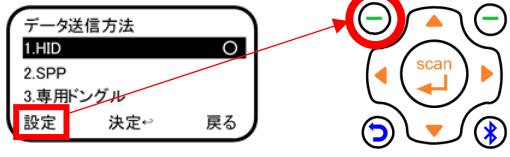
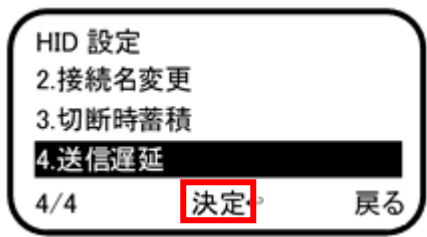
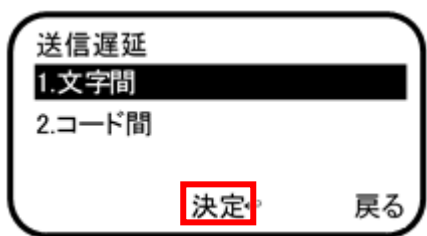
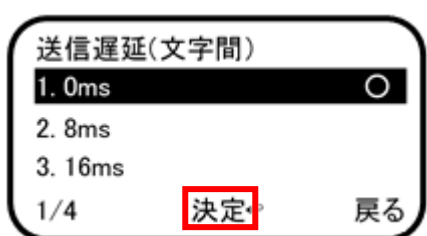
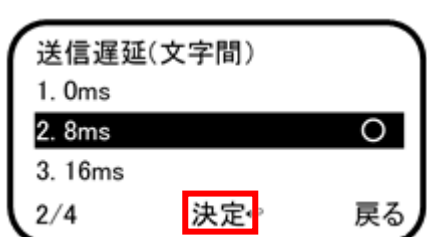
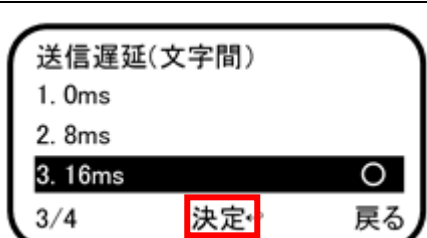
(3) 切断時蓄積

Bluetooth 未接続時、読み取りデータの本体蓄積有無について設定するには次の操作を行ってください。
 本体に蓄積したデータは Bluetooth 接続後に一括して送信することができます。
 蓄積データの操作については「5.9 蓄積データ操作」を参照してください。

項番	説明	画面
1.	データ送信方法画面で「1. HID」を選択(反転)した状態で【左上】(設定)キーを押し、HID 設定画面を表示します	
2.	HID 設定画面で「3. 切断時蓄積」を選択し【SCAN】(設定)キーを押します	
3.	a) <u>無効にする</u> 「1. 無効」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
4.	b) <u>有効にする</u> 「2. 有効」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します 切断時蓄積を「有効」に設定すると、スキャン画面の下部に「G」のアイコンを表示します	 

(4) 送信遅延（文字間）

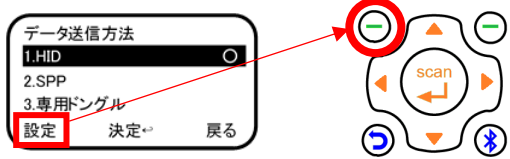
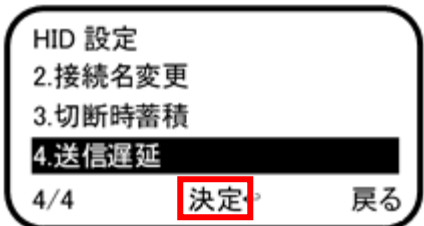
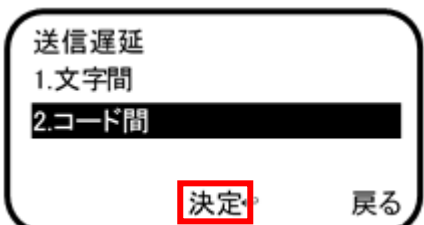
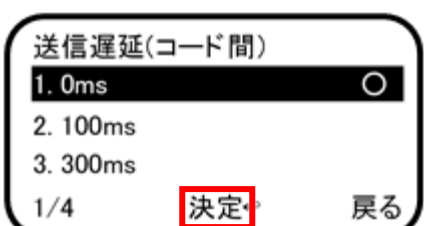
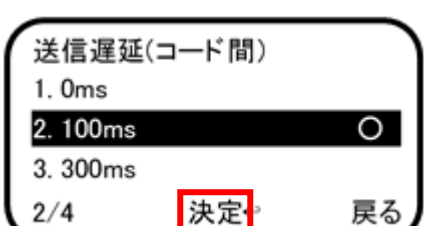
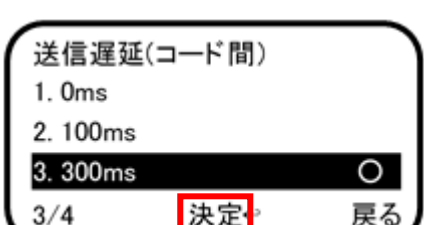
文字間における送信遅延を設定するには次の操作を行ってください。

項番	説明	画面
1.	データ送信方法画面で「1. HID」を選択（反転）した状態で【左上】（設定）キーを押し、HID 設定画面を表示します	
2.	HID 設定画面で「4. 送信遅延」を選択後【SCAN】（設定）キーを押し、送信遅延画面を表示します	
3.	送信遅延画面で「1. 文字間」を選択後【SCAN】（設定）キーを押し送信遅延（文字間）画面を表示します	
4.	<u>a) 0ms にする</u> 「1. 0ms」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
5.	<u>b) 8ms にする</u> 「2. 8ms」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
6.	<u>c) 16ms にする</u> 「3. 16ms」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	

項番	説明	画面
7.	d) カスタム値にする 「4. カスタム」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
8.	カスタム値入力画面を表示します	
9.	カスタム値入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します ※指定可能なカスタム値は <u>0～99ms</u> です	
10.	e) カスタム値を確定する カスタム値入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、カスタム値を確定し送信遅延(文字間)画面に戻ります	
11.	f) 最後に入力した数字を取り消す カスタム値入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます ※【リターン】キーを押すとカスタム値入力を中止し送信遅延(文字間)画面に戻ります	

(5) 送信遅延（コード間）

コード間における送信遅延を設定するには次の操作を行ってください。

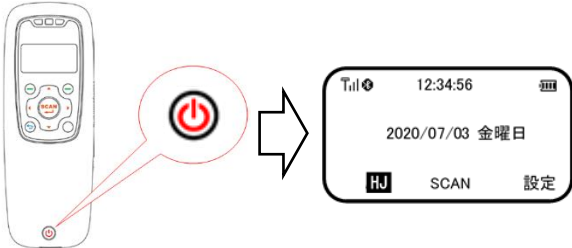
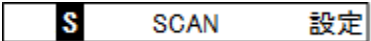
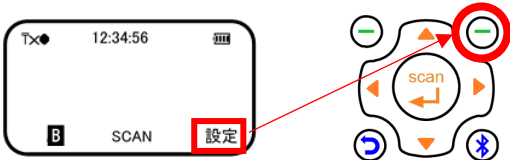
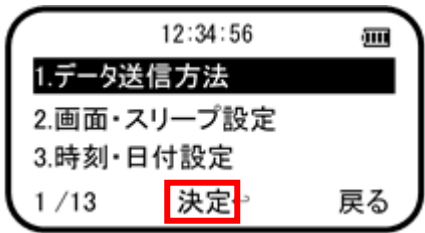
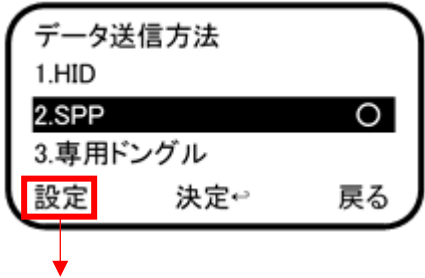
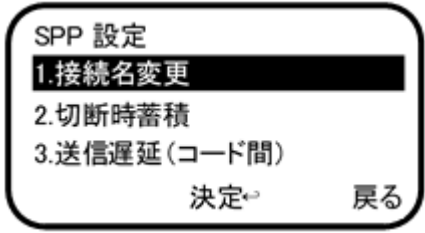
項番	説明	画面
1.	データ送信方法画面で「1. HID」を選択（反転）した状態で【左上】（設定）キーを押し、HID 設定画面を表示します	
2.	HID 設定画面で「4. 送信遅延」を選択後【SCAN】（設定）キーを押し、送信遅延画面を表示します	
3.	送信遅延画面で「2. コード間」を選択後【SCAN】（設定）キーを押し送信遅延（コード間）画面を表示します	
4.	<u>a) 0ms にする</u> 「1. 0ms」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
5.	<u>b) 100ms にする</u> 「2. 100ms」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
6.	<u>c) 300ms にする</u> 「3. 300ms」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	

項番	説明	画面
7.	d) カスタム値にする 「4. カスタム」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
8.	カスタム値入力画面を表示します	
9.	カスタム値入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します ※指定可能なカスタム値は <u>0～9999ms</u> です	
10.	e) カスタム値を確定する カスタム値入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、カスタム値を確定し送信遅延(コード間)画面に戻ります	
11.	f) 最後に入力した数字を取り消す カスタム値入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます ※【リターン】キーを押すとカスタム値入力を中止し送信遅延(コード間)画面に戻ります	

5.1.2 SPP モード

・送信方法を設定する(SPP)

データ送信方法を「SPP」にするには次のように行います。

項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面の下部に「S」のアイコンが表示されているときは、すでにSPPモードに設定されているため、以降の操作は必要ありません	
3.	スキャン画面の下部に「S」のアイコンが表示されていないときは、スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
4.	設定メニューで「1. データ送信方法」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、データ送信方法画面を表示します	
5.	データ送信方法画面で「2. SPP」選択後【SCAN】(決定)キーを押し SPP モードに設定します データ送信方法画面で「2. SPP」を選択(反転)した状態で【左上】(設定)キーを押すと、SPP 設定画面を表示します	
6.	SPP 設定画面では、送信オプションの設定を行います) ※送信オプションの設定については「 <u>・送信オプションの設定(SPP)</u> 」を参照してください	

項番	説明	画面
7.	データ送信方法画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと設定メニューに戻ります	
8.	設定メニューで【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン画面に戻ります	
9.	SPP モードに設定すると、スキャン画面の下部に「S」のアイコンを表示します	

・送信オプションの設定(SPP)

「SPP」送信オプションには次のものがあります。

- 1) 接続名変更
- 2) 切断時蓄積
- 3) 送信遅延(コード間)

(1) 接続名変更

Bluetooth 接続名を変更するには次の操作を行ってください。

項番	説明	画面
1.	データ送信方法画面で「2. SPP」を選択(反転)した状態で【左上】(設定)キーを押し、SPP 設定画面を表示します	
2.	SPP 設定画面で「1. 接続名変更」を選択し【SCAN】(設定)キーを押します	
3.	接続名変更確認画面を表示します 【左上】(はい)キーを押すと、接続名入力画面を表示します 【右上】(いいえ)キーを押すと、SPP 設定画面に戻ります	
4.	接続名入力画面を表示します	
5.	接続名入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字あるいは文字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します ※入力可能最大文字数は <u>10</u> です	

項番	説明	画面
6.	a) 入力データを確定する 接続名入力画面で【左上】(確定)キーを押します	
7.	再起動要求画面を表示します 接続名変更を確定するために再起動を行ってください ※再起動要求画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとSPP設定画面に戻り、その他のオプション設定を行うことができますが、それらの設定終了後は必ず再起動を行い接続名変更の確定をしてください	
8.	b) 最後に入力した文字を取り消す 接続名入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に入力した文字を取り消すことができます ※【リターン】キーを押すと接続名入力を中止しSPP設定画面に戻ります	

(2) 切断時蓄積

Bluetooth 未接続時、読み取りデータの本体蓄積有無について設定するには次の操作を行ってください。
 本体に蓄積したデータは Bluetooth 接続後に一括して送信することができます。
 蓄積データの操作については「5.9 蓄積データ操作」を参照してください。

項番	説明	画面
1.	データ送信方法画面で「2. SPP」を選択(反転)した状態で【左上】(設定)キーを押し、SPP 設定画面を表示します	
2.	SPP 設定画面で「2. 切断時蓄積」を選択し【SCAN】(設定)キーを押します	
3.	<u>a) 無効にする</u> 「1. 無効」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
4.	<u>b) 有効にする</u> 「2. 有効」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します 切断時蓄積を「有効」に設定すると、スキャン画面の下部に「G」のアイコンを表示します	

(3) 送信遅延（コード間）

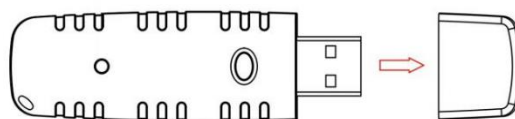
コード間における送信遅延を設定するには次の操作を行ってください。

項番	説明	画面
1.	データ送信方法画面で「 2. SPP 」を選択（反転）した状態で【左上】（設定）キーを押し、SPP 設定画面を表示します	
2.	SPP 設定画面で「 3. 送信遅延（コード間） 」を選択後【SCAN】（設定）キーを押し、送信遅延（コード間）画面を表示します	
3.	<u>a) 0ms にする</u> 「 1. 0ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
4.	<u>b) 100ms にする</u> 「 2. 100ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
5.	<u>c) 300ms にする</u> 「 3. 300ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	

項番	説明	画面
6.	d) カスタム値にする 「4. カスタム」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
7.	カスタム値入力画面を表示します	
8.	カスタム値入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します ※指定可能なカスタム値は <u>0～9999ms</u> です	
9.	e) カスタム値を確定する カスタム値入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、カスタム値を確定し送信遅延(コード間)画面に戻ります	
10.	f) 最後に入力した数字を取り消す カスタム値入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます ※【リターン】キーを押すとカスタム値入力を中止し送信遅延(コード間)画面に戻ります	

5.1.3 専用ドングルモード

ここでは専用ドングル(MD30BA)使用時のモード設定について記載します。

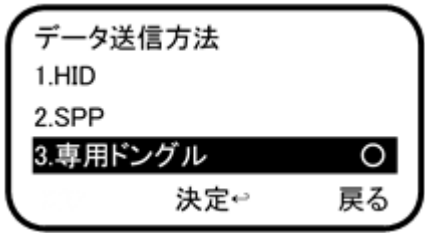
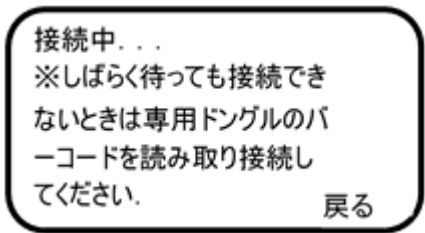


専用ドングル(MD30BA)

(1) 送信方法を専用ドングルに設定する

データ送信方法を「専用ドングル」にするには次のように行います。

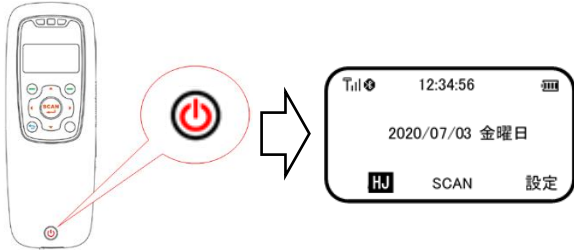
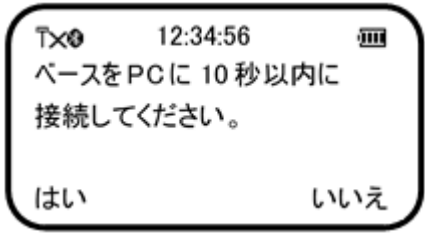
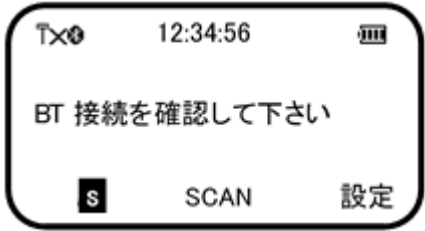
項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面の下部に「h」または「s」(小文字の「s」)のアイコンが表示されているときは、すでに専用ドングルモードに設定されているため、以降の操作は必要ありません	
3.	スキャン画面の下部に「h」または「s」(小文字の「s」)のアイコンが表示されていなかったときは、スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
4.	設定メニューで「1. データ送信方法」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、データ送信方法画面を表示します	
5.	データ送信方法画面で「3. 専用ドングル」選択後【SCAN】(決定)キーを押し専用ドングルモードに設定します	

項番	説明	画面
6.	・<u>自動再接続が「無効」</u>のとき ※自動再接続の設定は設定メニューの「12.自動再接続」で行えます この時点では専用 dongle に接続していません 接続するには、自動再接続を「有効」にするか、 手動で接続する必要があります ※手動で接続する方法については「<u>(2)専用 dongle に手動で接続する</u>」を参照してください	 データ送信方法 1.HID 2.SPP 3.専用dongle ○ 決定 戻る
7.	・<u>自動再接続が「有効」</u>のとき 接続中を示す画面を表示します 専用 dongle が PC に接続されているのに接続中を示す画面が消えないときは、手動で接続する必要があります ※手動で接続する方法については「<u>(2)専用 dongle に手動で接続する</u>」を参照してください	 接続中... ※しばらく待っても接続できないときは専用dongleのバーコードを読み取り接続してください。 戻る

項番	説明	画面
8.	専用 dongle に接続すると、データ送信方法画面に戻ります ※専用 dongle に接続すると、【左上】(設定)キーが使用できるようになります データ送信方法画面で「3. 専用 dongle」を選択 (反転) した状態で【左上】(設定)キーを押すと、接続種別 (HID/SPP) の設定画面を表示します	
9.	接続種別 (HID/SPP) の設定画面では、HID/SPP の切り替えや、送信オプションの設定を行うことができます ※HID/SPP の切り替えについては「(3)接続種別を変更 (HID→SPP) する」または「(4)接続種別を変更 (SPP→HID) する」を参照してください ※送信オプションの設定については「5.1.4 専用 dongle (HID) の送信オプション設定」または「5.1.5 専用 dongle (SPP) の送信オプション設定」を参照してください	
10.	データ送信方法画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと設定メニューに戻ります	
11.	設定メニューで【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン画面に戻ります	
12.	「専用 dongle」に設定すると、スキャン画面の下部に「h」または「s」(小文字の「s」)のアイコンを表示します	h SCAN 設定 または s SCAN 設定

(2) 専用ドングルに手動で接続する

専用ドングルに手動で接続するには次のように行います。

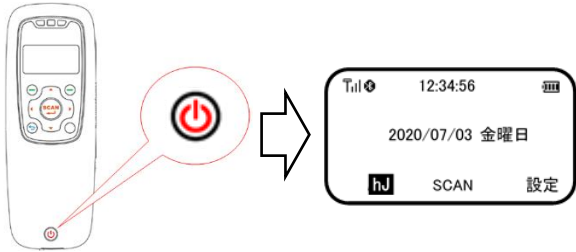
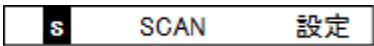
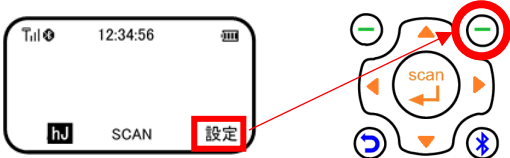
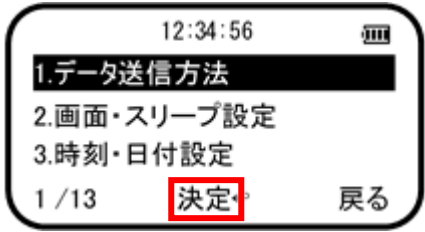
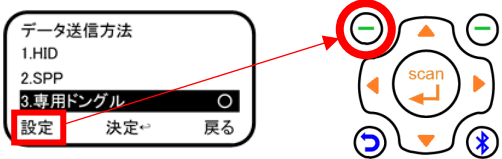
項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	専用ドングル裏面のバーコードを読み取ります	 裏面のバーコード(サンプル)
3.	裏面のバーコードの読み取りが成功すると、PCの USB ポートへの専用ドングル接続要求画面を表示します 10 秒以内に専用ドングルを PC に接続してください	
4.	スキャン画面の下部には「h」または「s」(小文字の「s」)のアイコンを表示します	
5.	接続に失敗すると Bluetooth 接続確認のメッセージをスキャン画面に表示します 再度、専用ドングル裏面のバーコードを読み取った後、専用ドングルを PC に接続し専用ドングルの接続操作を完了してください	

(3) 接続種別を変更（HID→SPP）する

データ送信方法を「SPP」にするには次のように行います。

なお専用ドングルの接続種別変更は、専用ドングルに接続した状態でなければ行えません。

専用ドングルに接続する方法については「[\(1\)送信方法を専用ドングルに設定する](#)」を参照してください。

項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面の下部に「s」(小文字の「s」)のアイコンが表示されているときは、すでにSPPモードに設定されているため、以降の操作は必要ありません	
3.	スキャン画面の下部に「s」(小文字の「s」)のアイコンが表示されていなかったときは、スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
4.	設定メニューで「1. データ送信方法」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、データ送信方法画面を表示します	
5.	データ送信方法画面で「3. 専用ドングル」を選択(反転)した状態で、【左上】(設定)キーを押し、接続種別画面を表示します ※専用ドングルに接続した状態でないと、【左上】(設定)キーを押すことはできません(「設定」の文字は表示されません)	

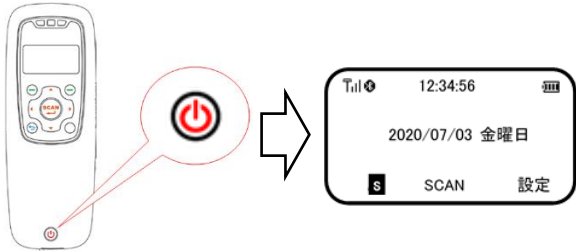
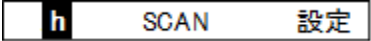
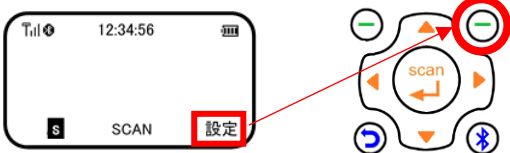
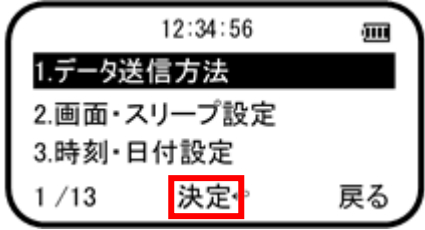
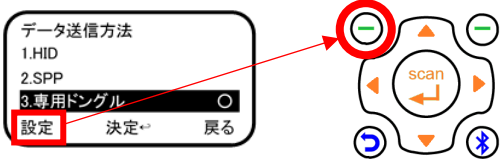
項番	説明	画面
6.	接続種別画面で「2. SPP」選択後【SCAN】(決定)キーを押し SPP モードに設定します	
7.	接続種別画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとデータ送信方法画面に戻ります	
8.	データ送信方法画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと設定メニューに戻ります	
9.	設定メニューで【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン画面に戻ります	
10.	SPP モードに設定すると、スキャン画面の下部に「s」(小文字の「s」)のアイコンを表示します	

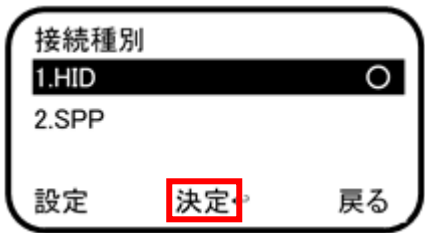
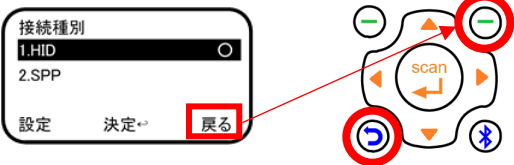
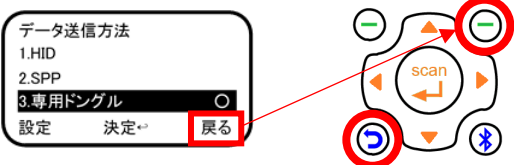
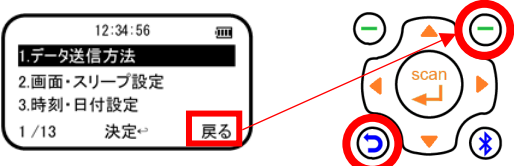
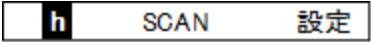
(4) 接続種別を変更 (SPP→HID) する

データ送信方法を「HID」にするには次のように行います。

なお専用ドングルの接続種別変更は、専用ドングルに接続した状態でなければ行えません。

専用ドングルに接続する方法については「[\(1\)送信方法を専用ドングルに設定する](#)」を参照してください。

項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面の下部に「 h 」(小文字の「h」)のアイコンが表示されているときは、すでにHIDモードに設定されているため、以降の操作は必要ありません	
3.	スキャン画面の下部に「 h 」(小文字の「h」)のアイコンが表示されていなかったときは、スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
4.	設定メニューで「1. データ送信方法」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、データ送信方法画面を表示します	
5.	データ送信方法画面で「3. 専用ドングル」を選択(反転)した状態で、【左上】(設定)キーを押し、接続種別画面を表示します ※専用ドングルに接続した状態でないと、【左上】(設定)キーを押すことはできません(「設定」の文字は表示されません)	

項番	説明	画面
6.	接続種別画面で「1. HID」選択後【SCAN】(決定)キーを押し HID モードに設定します	
7.	接続種別画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとデータ送信方法画面に戻ります	
8.	データ送信方法画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと設定メニューに戻ります	
9.	設定メニューで【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン画面に戻ります	
10.	HID モードに設定すると、スキャン画面の下部に「h」(小文字の「h」)のアイコンを表示します	

5.1.4 専用 dongle (HID) の送信オプション設定

「専用 dongle (HID)」送信オプションには次のものがあります。

- 1) キーボードレイアウト
- 2) 送信ポートの速度
- 3) 切断時蓄積
- 4) 送信遅延(コード間)

(1) 送信オプション設定を開始する

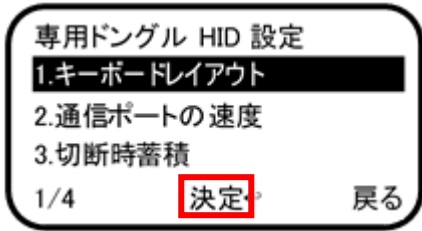
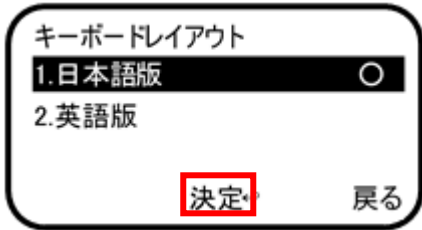
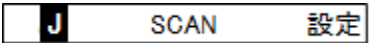
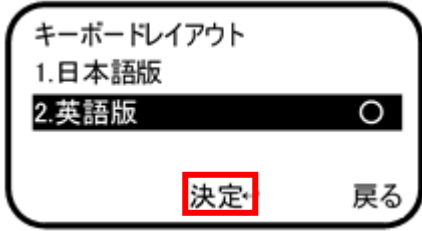
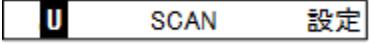
専用 dongle (HID) の送信オプション設定を開始するには次のように行います。

なお専用 dongle (HID) の送信オプション設定は、専用 dongle (HID) に接続した状態でなければ行えません。
専用 dongle (HID) に接続した状態にするには「(4) 接続種別を変更 (SPP → HID) する」を参照してください。

項番	説明	画面
1.	ここでは専用 dongle (HID) で接続した状態であることを前提に説明します スキャン画面で【右上】(設定) キーを押し、設定メニューを表示します	
2.	設定メニューで「1. データ送信方法」選択後【SCAN】(決定) キーを押し、データ送信方法画面を表示します	
3.	データ送信方法画面で「3. 専用 dongle」を選択 (反転) した状態で、【左上】(設定) キーを押し、接続種別画面を表示します ※専用 dongle に接続した状態でないと、【左上】(設定) キーを押すことはできません (「設定」の文字は表示されません)	
4.	接続種別画面で「1. HID」を選択 (反転) した状態で【左上】(設定) キーを押すと、専用 dongle HID 設定画面を表示します (送信オプションの設定を開始することができます) ※HID 接続した状態でないと、【左上】(設定) キーを押すことはできません (「設定」の文字は表示されません)	

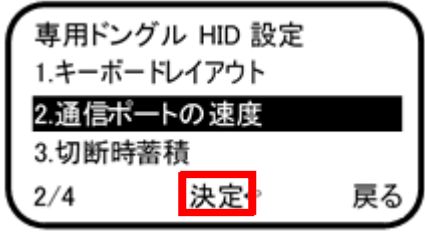
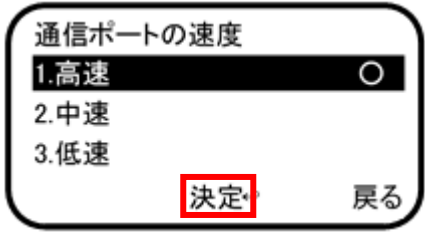
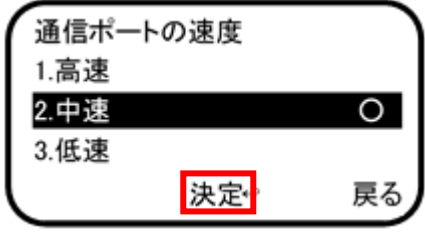
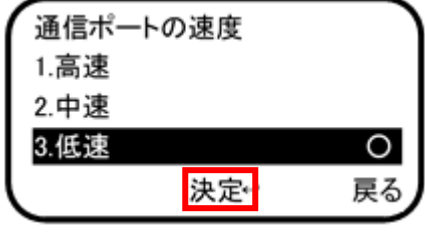
(2) キーボードレイアウト

キーボードレイアウトを設定するには次の操作を行ってください。

項番	説明	画面
1.	専用 dongle HID 設定画面で「1. キーボードレイアウト」を選択し【SCAN】(設定)キーを押します ※専用 dongle HID 設定画面を表示する方法は「(1)送信オプション設定を開始する」を参照してください	
2.	<u>a) 日本語版にする</u> 「1. 日本語版」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します 「日本語版」に設定すると、スキャン画面の下部に「J」のアイコンを表示します	 
3.	<u>b) 英語版にする</u> 「2. 英語版」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します 「英語版」に設定すると、スキャン画面の下部に「U」のアイコンを表示します	 

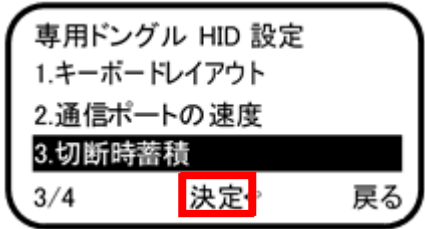
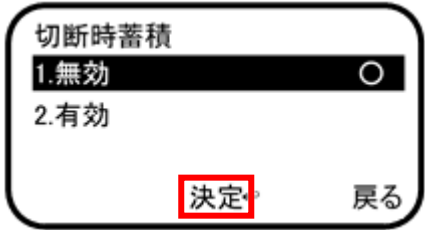
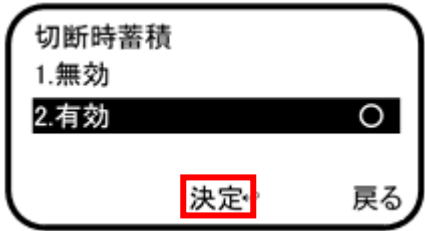
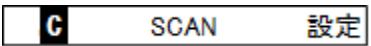
(3) 通信ポートの速度

通信ポートの速度を設定するには次の操作を行ってください。

項番	説明	画面
1.	専用ドングル HID 設定画面で「2. 通信ポートの速度」を選択し【SCAN】(設定)キーを押し、通信ポートの速度画面を表示します ※専用ドングル HID 設定画面を表示する方法は「<u>(1)送信オプション設定を開始する</u>」を参照してください。	
2.	a) 高速にする 「1. 高速」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	b) 中速にする 「2. 中速」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
4.	c) 低速にする 「3. 低速」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	

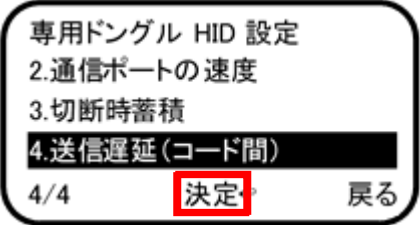
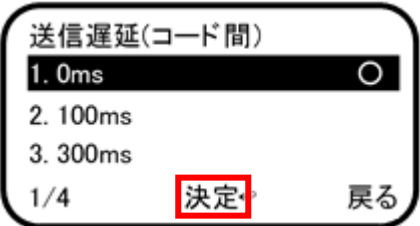
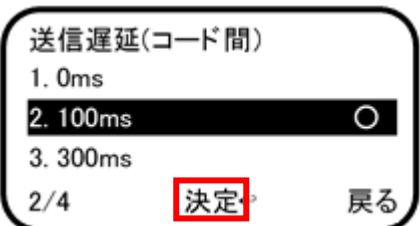
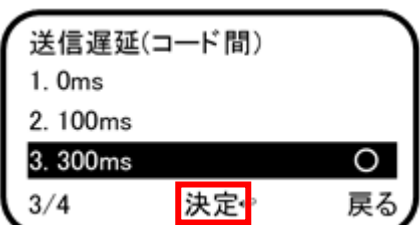
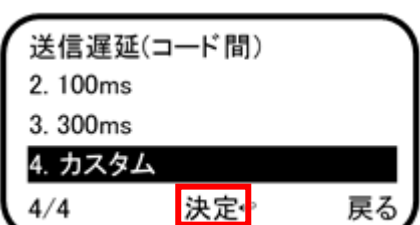
(4) 切断時蓄積

Bluetooth 未接続時、読み取りデータの本体蓄積有無について設定するには次の操作を行ってください。
 本体に蓄積したデータは Bluetooth 接続後に一括して送信することができます。
 蓄積データの操作については「5.9 蓄積データ操作」を参照してください。

項番	説明	画面
1.	専用 dongle HID 設定画面で「3. 切断時蓄積」を選択し【SCAN】(設定)キーを押し、切断時蓄積画面を表示します ※専用 dongle HID 設定画面を表示する方法は「(1)送信オプション設定を開始する」を参照してください。	
2.	a) 無効にする 「1. 無効」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	b) 有効にする 「2. 有効」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します 切断時蓄積を「有効」に設定すると、スキャン画面の下部に「C」のアイコンを表示します	 

(5) 送信遅延（コード間）

コード間における送信遅延を設定するには次の操作を行ってください。

項番	説明	画面
1.	専用ドングル HID 設定画面で「 4. 送信遅延（コード間） 」を選択し【SCAN】（設定）キーを押し、送信遅延（コード間）画面を表示します ※専用ドングル HID 設定画面を表示する方法は「 (1)送信オプション設定を開始する 」を参照してください。	
2.	a) 0ms にする 「 1. 0ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
3.	b) 100ms にする 「 2. 100ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
4.	c) 300ms にする 「 3. 300ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
5.	d) カスタム値にする 「 4. カスタム 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
6.	カスタム値入力画面を表示します	

項番	説明	画面
7.	カスタム値入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します ※指定可能なカスタム値は <u>0～9999ms</u> です	
8.	e) カスタム値を確定する カスタム値入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、カスタム値を確定し送信遅延(コード間)画面に戻ります	
9.	f) 最後に入力した数字を取り消す カスタム値入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます ※【リターン】キーを押すとカスタム値入力を中止し送信遅延(コード間)画面に戻ります	

5.1.5 専用ドングル(SPP)の送信オプション設定

「専用ドングル(SPP)」送信オプションには次のものがあります。

- 1) 切断時蓄積
- 2) 送信遅延(コード間)

(1) 送信オプション設定を開始する

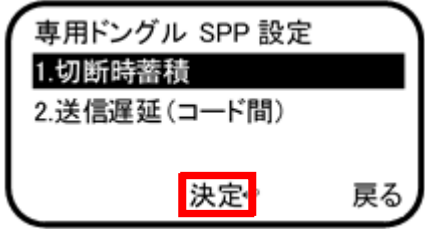
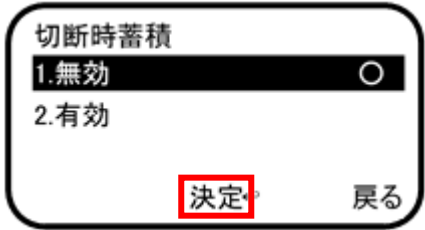
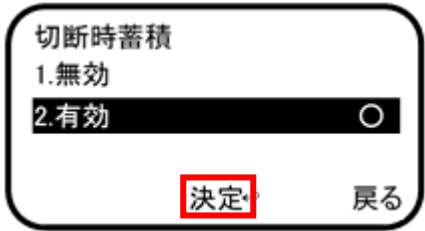
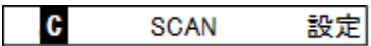
専用ドングル(SPP)の送信オプション設定を開始するには次のように行います。

なお専用ドングル(SPP)の送信オプション設定は、専用ドングル(SPP)に接続した状態でなければ行えません。専用ドングル(SPP)に接続した状態にするには「(3)接続種別を変更(HID→SPP)する」を参照してください。

項番	説明	画面
1.	ここでは専用ドングル(SPP)で接続した状態であることを前提に説明します スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
2.	設定メニューで「1. データ送信方法」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、データ送信方法画面を表示します	
3.	データ送信方法画面で「3. 専用ドングル」を選択(反転)した状態で、【左上】(設定)キーを押し、接続種別画面を表示します ※専用ドングルに接続した状態でないと、【左上】(設定)キーを押すことはできません(「設定」の文字は表示されません)	
4.	接続種別画面で「1. SPP」を選択(反転)した状態で【左上】(設定)キーを押すと、専用ドングル SPP 設定画面を表示します(送信オプションの設定を開始することができます) ※SPP 接続した状態でないと、【左上】(設定)キーを押すことはできません(「設定」の文字は表示されません)	

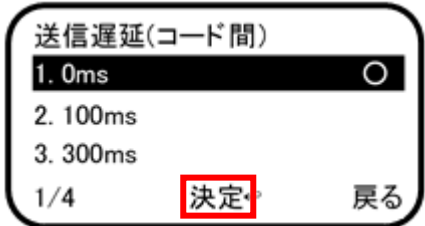
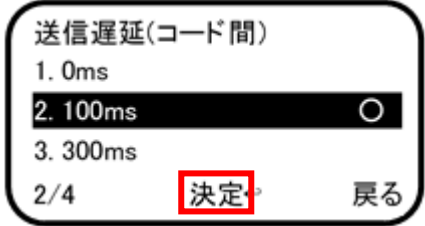
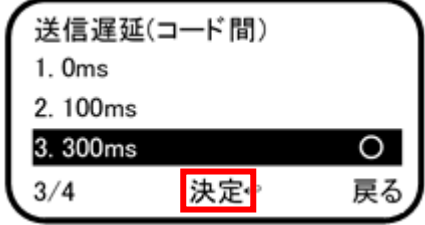
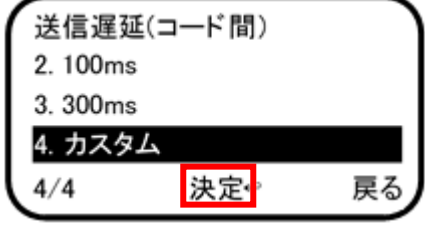
(2) 切断時蓄積

Bluetooth 未接続時、読み取りデータの本体蓄積有無について設定するには次の操作を行ってください。
 本体に蓄積したデータは Bluetooth 接続後に一括して送信することができます。
 蓄積データの操作については「5.9 蓄積データ操作」を参照してください。

項番	説明	画面
1.	専用 dongle SPP 設定画面で「1. 切断時蓄積」を選択し【SCAN】(設定)キーを押し、切断時蓄積画面を表示します ※専用 dongle SPP 設定画面を表示する方法は「(1)送信オプション設定を開始する」を参照してください。	
2.	a) 無効にする 「1. 無効」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	b) 有効にする 「2. 有効」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します 切断時蓄積を「有効」に設定すると、スキャン画面の下部に「C」のアイコンを表示します	 

(3) 送信遅延（コード間）

コード間における送信遅延を設定するには次の操作を行ってください。

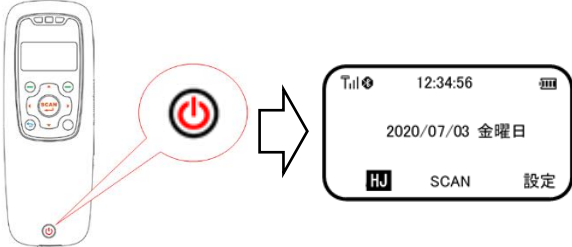
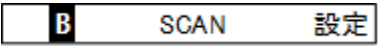
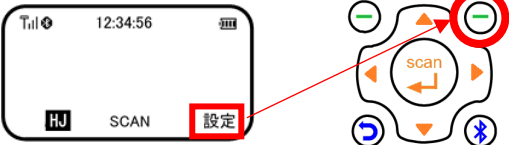
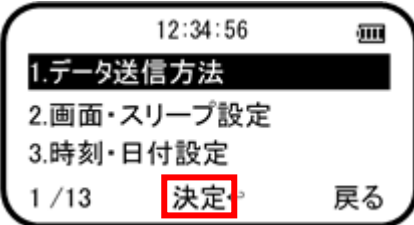
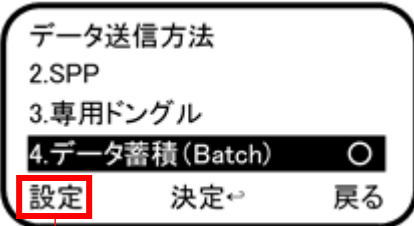
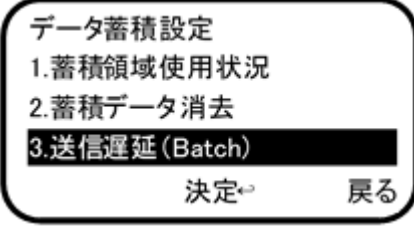
項番	説明	画面
1.	専用ドングル SPP 設定画面で「 4. 送信遅延（コード間） 」を選択し【SCAN】（設定）キーを押し、送信遅延（コード間）画面を表示します ※専用ドングル SPP 設定画面を表示する方法は「 <u>(1)送信オプション設定を開始する</u> 」を参照してください。	
2.	<u>a) 0ms にする</u> 「 1. 0ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
3.	<u>b) 100ms にする</u> 「 2. 100ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
4.	<u>c) 300ms にする</u> 「 3. 300ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
5.	<u>d) カスタム値にする</u> 「 4. カスタム 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
6.	カスタム値入力画面を表示します	

項番	説明	画面
7.	カスタム値入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します ※指定可能なカスタム値は <u>0～9999ms</u> です	
8.	e) カスタム値を確定する カスタム値入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、カスタム値を確定し送信遅延(コード間)画面に戻ります	
9.	f) 最後に入力した数字を取り消す カスタム値入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます ※【リターン】キーを押すとカスタム値入力を中止し送信遅延(コード間)画面に戻ります	

5.1.6 データ蓄積(Batch)

・送信方法を設定する

データ送信方法を「データ蓄積(Batch)」にするには次のように行います。

項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面の下部に「 B 」のアイコンが表示されているときは、すでにデータ蓄積(Batch)モードに設定されているため、以降の操作は必要ありません	
3.	スキャン画面の下部に「 B 」のアイコンが表示されていなかったときは、スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
4.	設定メニューで「 1. データ送信方法 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、データ送信方法画面を表示します	
5.	データ送信方法画面で「 4. データ蓄積(Batch) 」選択後【SCAN】(決定)キーを押しデータ蓄積(Batch)モードに設定します データ送信方法画面で「 4. データ蓄積(Batch) 」を選択(反転)した状態で【左上】(設定)キーを押すと、データ蓄積設定画面を表示します	
6.	データ蓄積設定画面では、蓄積データの操作を行うことができます ※蓄積データの操作については「 <u>・蓄積データの操作</u> 」を参照してください	

項番	説明	画面
7.	データ送信方法画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと設定メニューに戻ります	
8.	設定メニューで【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン画面に戻ります	
9.	データ蓄積 (Batch) モードに設定すると、スキャン画面の下部に「B」のアイコンを表示します	
10.	自動再接続が有効に設定されている等の理由で、データ蓄積 (Batch) モード設定時に Bluetooth 接続状態になると、スキャン画面で【左上】(送信)キーを押すことができますようになります (蓄積データの送信を行うことができます) 【左上】(送信)キーを押すと、蓄積データの送信確認画面を表示します	
11.	蓄積データの送信確認画面で、【左上】(OK)キーを押すと、データを送信します	
12.	送信が完了すると、送信した蓄積データの消去確認画面を表示します 【左上】(はい)キーを押すと、蓄積データを消去してスキャン画面に戻ります 【右上】(いいえ)キーを押すと、蓄積データを消去せずにスキャン画面に戻ります	

・蓄積データの操作

蓄積データの操作には次のものがあります。

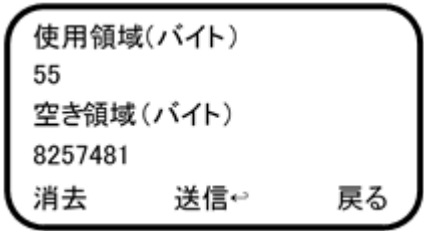
- 1) 蓄積領域使用状況
- 2) 蓄積データ消去
- 3) 送信遅延 (Batch)

蓄積データ設定画面における各種蓄積データの操作方法を以降に記載します。

(1) 蓄積領域使用状況

データを蓄積している領域の使用状況を参照するには次の操作を行ってください。

項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「1. データ送信方法」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、データ送信方法画面を表示します	
4.	データ送信方法画面で「4. データ蓄積 (Batch)」を選択 (反転) した状態で【左上】(設定)キーを押し、データ蓄積設定画面を表示します	
5.	データ蓄積設定画面で「1. 蓄積領域使用状況」を選択し【SCAN】(設定)キーを押します	

項番	説明	画面
6.	蓄積データ使用状況画面を表示します ※蓄積データが存在しないとき(使用領域が0バイトのとき)は、蓄積データ操作を行うための【左上】(消去)キーと【SCAN】(送信)キーを表示しません	 使用領域(バイト) 55 空き領域(バイト) 8257481 消去 送信 戻る

・使用状況画面から蓄積データを消去

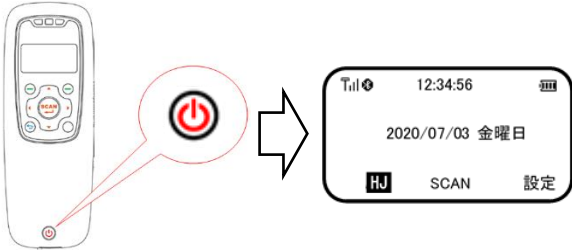
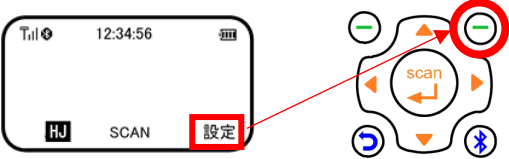
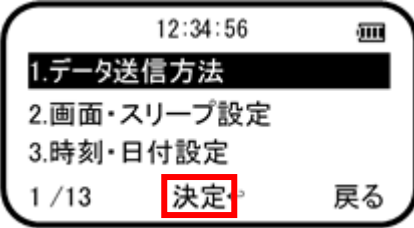
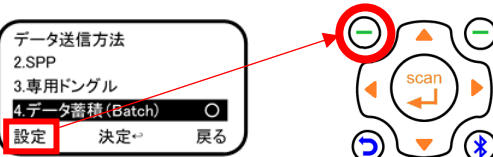
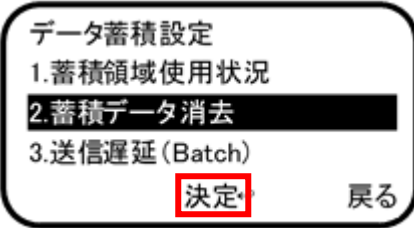
項番	説明	画面
1.	蓄積データ使用状況画面で【左上】(消去)キーを押すと、蓄積データ消去画面を表示します ※蓄積データが存在しないとき(使用領域が0バイトのとき)は、蓄積データ操作を行うための【左上】(消去)キーと【SCAN】(送信)キーを表示しません	
2.	・<u>消去を行うとき</u> 「1. する」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します 消去が終了すると蓄積データ使用状況画面に戻ります	
3.	・<u>消去を中止するとき</u> 「2. しない」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します 消去を行わず蓄積データ使用状況画面に戻ります	

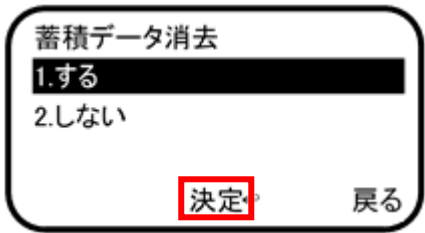
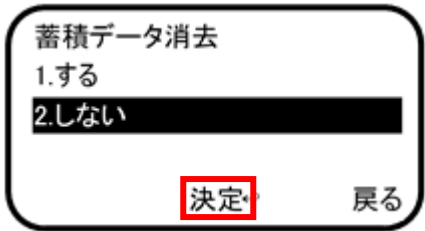
・使用状況画面から蓄積データを送信

項番	説明	画面
1.	蓄積データ使用状況画面で【SCAN】(送信)キーを押します	
2.	・Bluetooth に接続していないとき Bluetooth に接続していないときは、エラーメッセージ「Bluetooth 未接続です」を数秒表示後、蓄積データ使用状況画面に戻ります	
3.	・Bluetooth に接続しているとき 蓄積データの送信確認画面を表示します 【左上】(OK)キーを押すと、データを送信します	
4.	送信が完了すると、送信した蓄積データの消去確認画面を表示します 【左上】(はい)キーを押すと、蓄積データを消去して蓄積データ使用状況画面に戻ります 【右上】(いいえ)キーを押すと、蓄積データを消去せずに蓄積データ使用状況画面に戻ります	

(2) 蓄積データ消去

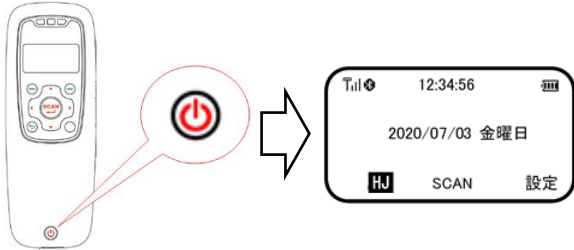
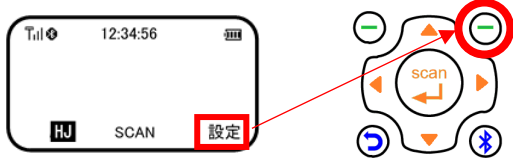
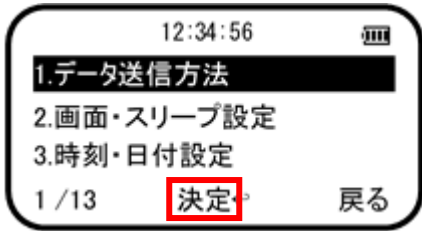
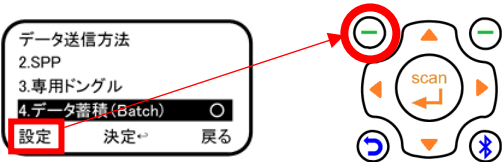
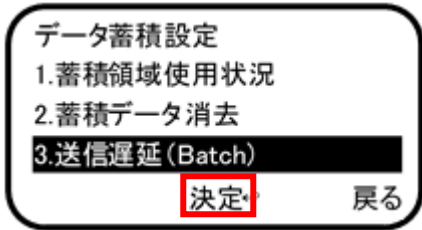
蓄積しているデータを消去するには次の操作を行ってください。

項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「1. データ送信方法」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、データ送信方法画面を表示します	
4.	データ送信方法画面で「4. データ蓄積 (Batch)」を選択 (反転) した状態で【左上】(設定)キーを押し、データ蓄積設定画面を表示します	
5.	データ蓄積設定画面で「2. 蓄積データ消去」を選択し【SCAN】(設定)キーを押し、蓄積データ消去画面を表示します	

項番	説明	画面
6.	・<u>消去を行うとき</u> 「1. する」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します 消去が終了すると蓄積データ使用状況画面に戻ります	
7.	・<u>消去を中止するとき</u> 「2. しない」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します 消去を行わず蓄積データ使用状況画面に戻ります	

(3) 送信遅延 (Batch)

蓄積データ送信時における送信遅延を設定するには次の操作を行ってください。

項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「1. データ送信方法」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、データ送信方法画面を表示します	
4.	データ送信方法画面で「4. データ蓄積 (Batch)」を選択 (反転) した状態で【左上】(設定)キーを押し、データ蓄積設定画面を表示します	
5.	データ蓄積設定画面で「3. 送信遅延 (Batch)」を選択し【SCAN】(設定)キーを押し、送信遅延 (Batch)画面を表示します	

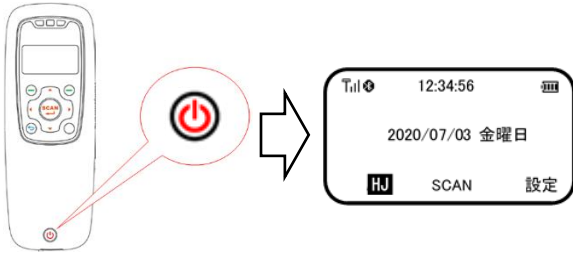
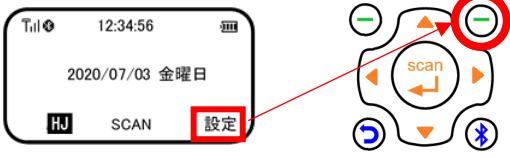
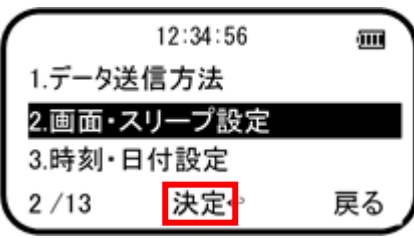
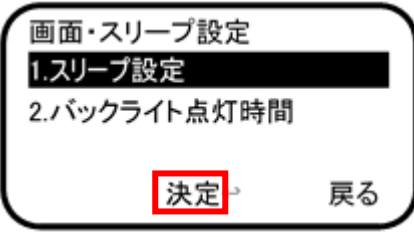
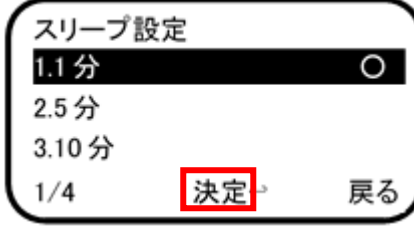
項番	説明	画面
6.	<u>a) 0ms にする</u> 「1. 0ms」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	 送信遅延 (Batch) 1. 0ms ☒ 2. 300ms 3. 500ms 1/4 決定 戻る
7.	<u>b) 300ms にする</u> 「2. 100ms」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	 送信遅延 (Batch) 1. 0ms 2. 300ms ☒ 3. 500ms 2/4 決定 戻る
8.	<u>c) 500ms にする</u> 「3. 300ms」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	 送信遅延 (Batch) 1. 0ms 2. 300ms 3. 500ms ☒ 3/4 決定 戻る

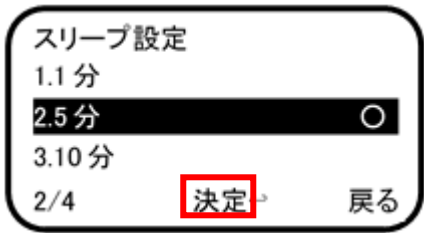
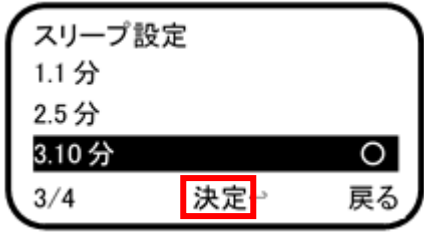
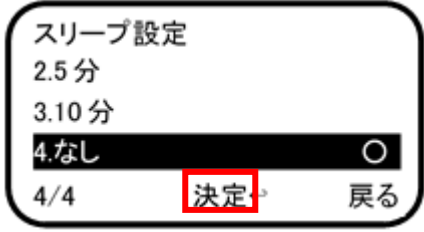
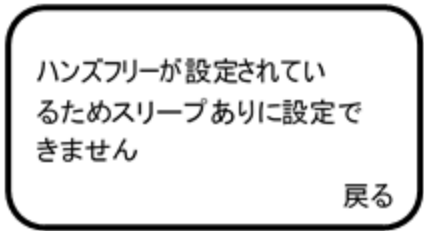
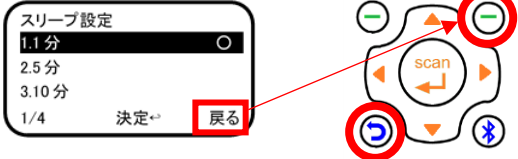
項番	説明	画面
9.	d) カスタム値にする 「4. カスタム」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
10.	カスタム値入力画面を表示します	
11.	カスタム値入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します ※指定可能なカスタム値は <u>0～9999ms</u> です	
12.	e) カスタム値を確定する カスタム値入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、カスタム値を確定し送信遅延 (Batch) 画面に戻ります	
13.	f) 最後に入力した数字を取り消す カスタム値入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます ※【リターン】キーを押すとカスタム値入力を中止し送信遅延 (Batch) 画面に戻ります	

5.2 画面・スリープ設定

(1) スリープ設定

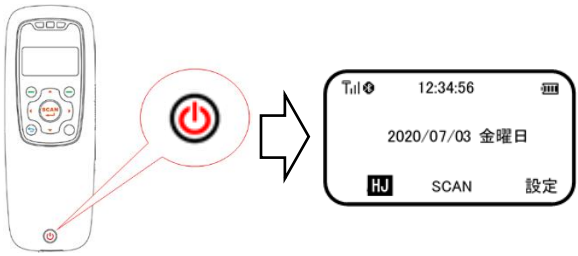
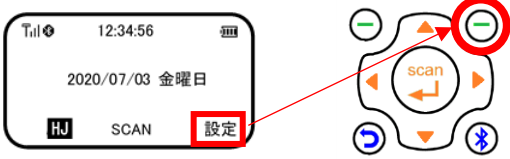
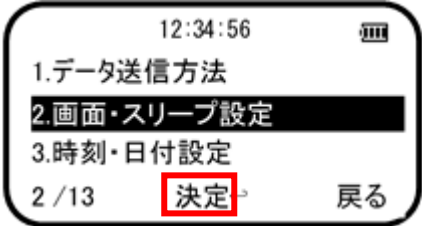
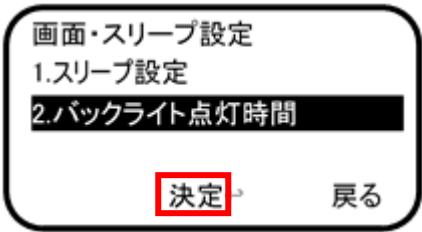
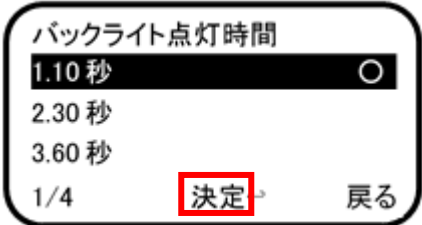
スリープの設定を行うには、以下の操作で行います。

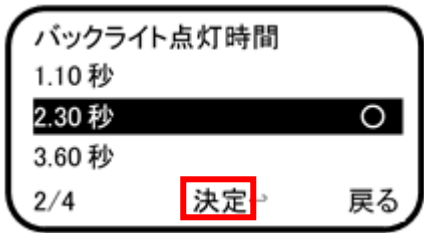
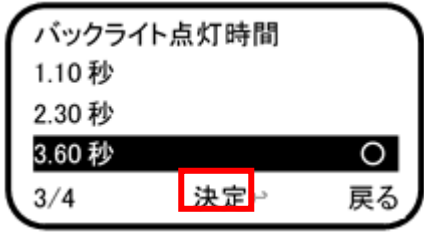
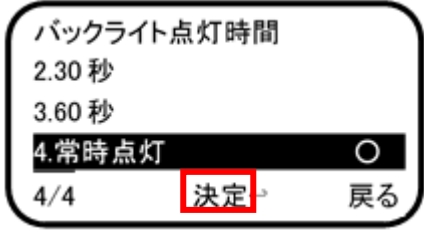
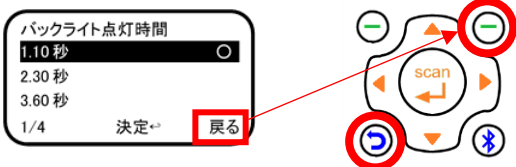
項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「2. 画面・スリープ設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、画面・スリープ設定メニューを表示します	
4.	画面・スリープ設定メニューで「1. スリープ設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、スリープ設定画面を表示します	
5.	<u>a) 1 分にする</u> スリープ設定画面で「1. 1 分」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	

項番	説明	画面
6.	<u>b) 5 分にする</u> スリープ設定画面で「2. 5 分」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
7.	<u>c) 10 分にする</u> スリープ設定画面で「3. 10 分」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
8.	<u>d) なしにする</u> スリープ設定画面で「4. なし」選択後【SCAN】(決定)キーを押します ※注意 スキャン方法が「ハンズフリー」のとき、スリープありの項目(1 分／5 分／10 分)は設定できません 「ハンズフリー」が設定された状態でスリープありの項目を選択すると、設定不可のメッセージを表示します 【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスリープ設定画面に戻ります	 
9.	スリープ設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと画面・スリープ設定メニューに戻ります	

(2) バックライト点灯時間

バックライト点灯時間を設定するには、以下の操作で行います。

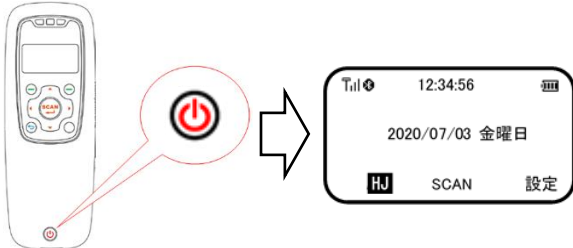
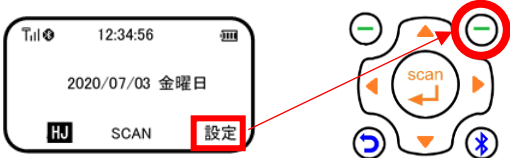
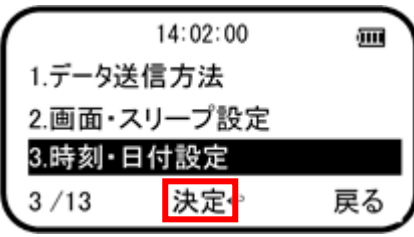
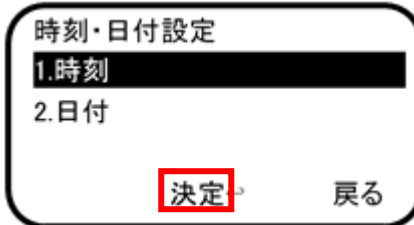
項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「2. 画面・スリープ設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、画面・スリープ設定メニューを表示します	
4.	画面・スリープ設定メニューで「2. バックライト点灯時間」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、バックライト点灯時間画面を表示します	
5.	<u>a) 10 秒にする</u> バックライト点灯時間画面で「2. 10 秒」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	

項番	説明	画面
6.	<u>b) 30 秒にする</u> バックライト点灯時間画面で「2. 30 秒」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
7.	<u>c) 60 秒にする</u> バックライト点灯時間画面で「2. 60 秒」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
8.	<u>d) 常時点灯にする</u> バックライト点灯時間画面で「2. 常時点灯」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
9.	バックライト点灯時間画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと画面・スリープ設定メニューに戻ります	

5.3 時刻・日付設定

(1) 時刻を設定する

本体の時刻を設定するには、以下の操作で行います。

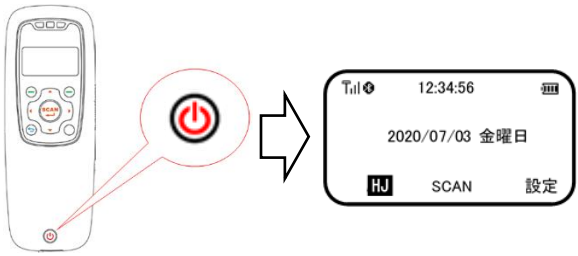
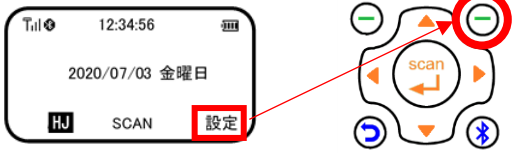
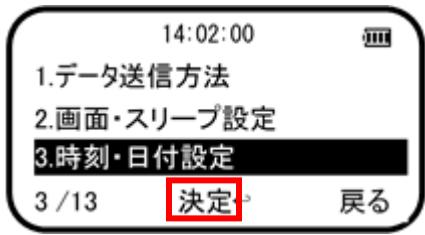
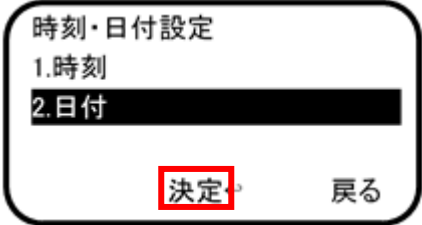
項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「3. 時刻・日付設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
4.	時刻・日付画面を表示します ※現在の、時刻、日付、曜日表示します 【左上】(設定)キーを押すと、時刻・日付設定画面を表示します	
5.	時刻・日付設定画面で「1. 時刻」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、時刻設定画面を表示します ※【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと時刻・日付画面に戻ります	

項番	説明	画面
6.	時刻設定画面で、【SCAN】(次へ)キーまたは【→】キーを押し、変更を行う項目(時/分/秒)を選択します ※キーを押す毎に「時→分→秒→時→分→秒…」と変更対象項目が移動します	・時 ※↑/↓キーで値を変更 時刻: 14:02:05 設定 次へ 戻る ・分 ※↑/↓キーで値を変更 時刻: 14:02:05 設定 次へ 戻る ・秒 ※↑/↓キーで値を変更 時刻: 14:02:05 設定 次へ 戻る

項番	説明	画面
7.	時刻設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し値を変更します 【↑】キーを押すと値が1増加し、【↓】キーを押すと値が1減少します ※右図は「時」を変更する場合の例です	※↑／↓キーで値を変更 時刻: 15:02:05 設定 次へ← 戻る 【↑】キーを押すと 値が1増加します ※↑／↓キーで値を変更 時刻: 14:02:05 設定 次へ← 戻る 【↓】キーを押すと 値が1減少します ※↑／↓キーで値を変更 時刻: 13:02:05 設定 次へ← 戻る
8.	【左上】(設定)キーを押すと、変更した値で時刻を設定し、時刻・日付画面に戻ります ※時刻設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと時刻設定を中止し時刻・日付設定画面に戻ります	※↑／↓キーで値を変更 時刻: 15:02:05 設定 次へ← 戻る 時刻・日付 時刻: 15:03:02 日付: 2020/03/03 曜日: 火曜日 設定 戻る
9.	時刻・日付画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと設定メニューに戻ります	時刻・日付 時刻: 14:02:02 日付: 2020/03/03 曜日: 火曜日 設定 戻る

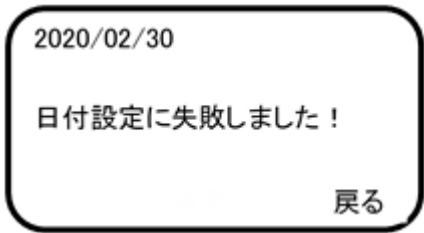
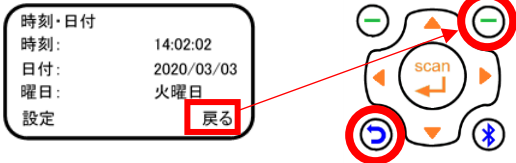
(2) 日付を設定する

本体の日付を設定するには、以下の操作で行います。

項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「3. 時刻・日付設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
4.	時刻・日付画面を表示します ※現在の、時刻、日付、曜日表示します 【左上】(設定)キーを押すと、時刻・日付設定画面を表示します	
5.	時刻・日付設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し「2. 日付」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、日付設定画面を表示します ※【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと時刻・日付画面に戻ります	

項番	説明	画面
6.	日付設定画面で、【SCAN】(次へ)キーまたは【→】キーを押し、変更を行う項目(年/月/日)を選択します ※キーを押す毎に「年→月→日→年→月→日...」と変更対象項目が移動します	The diagram illustrates the date setting process across three screens: Year, Month, and Day. Each screen displays the date '2020/03/03' and has a 'scan' button and a '次へ' (Next) button. Arrows indicate the flow from Year to Month to Day, and a return path from Day back to Year. •年 ※↑/↓キーで値を変更 日付: 2020/03/03 設定 次へ 戻る •月 ※↑/↓キーで値を変更 日付: 2020/03/03 設定 次へ 戻る •日 ※↑/↓キーで値を変更 日付: 2020/03/03 設定 次へ 戻る

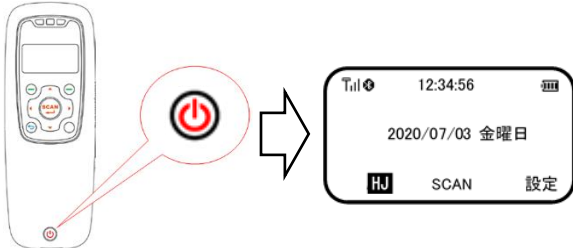
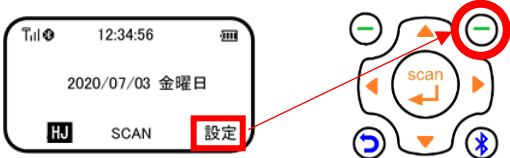
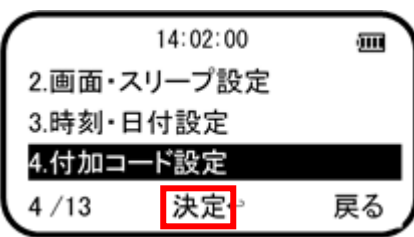
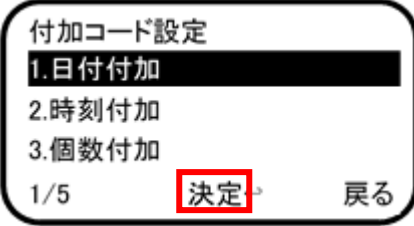
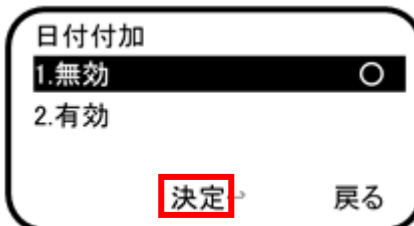
項番	説明	画面
7.	日付設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し値を変更します 【↑】キーを押すと値が1増加し、【↓】キーを押すと値が1減少します ※右図は「年」を変更する場合の例です	※↑／↓キーで値を変更 日付: 2021/03/03 設定 次へ↩ 戻る 【↑】キーを押すと 値が1増加します ※↑／↓キーで値を変更 日付: 2020/03/03 設定 次へ↩ 戻る 【↓】キーを押すと 値が1減少します ※↑／↓キーで値を変更 日付: 2019/03/03 設定 次へ↩ 戻る
8.	【左上】(設定)キーを押すと、変更した値で日付を設定し、時刻・日付画面に戻ります ※日付設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと日付設定を中止し時刻・日付設定画面に戻ります	※↑／↓キーで値を変更 日付: 2021/03/03 設定 次へ↩ 戻る 時刻・日付 時刻: 14:03:02 日付: 2021/03/03 曜日: 水曜日 設定 戻る

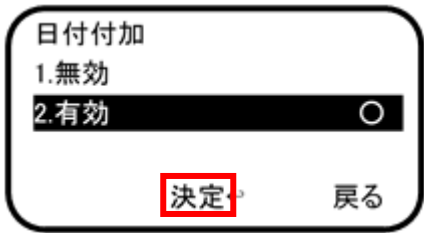
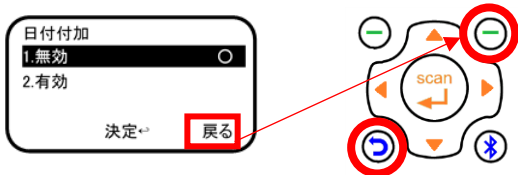
項番	説明	画面
9.	誤った日付で設定すると、設定に失敗した日付とエラーメッセージ「日付設定に失敗しました！」を表示します ※【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと日付設定を中止し時刻・日付設定画面に戻ります	
10.	時刻・日付画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと設定メニューに戻ります	

5.4 付加コード設定

(1) 日付付加

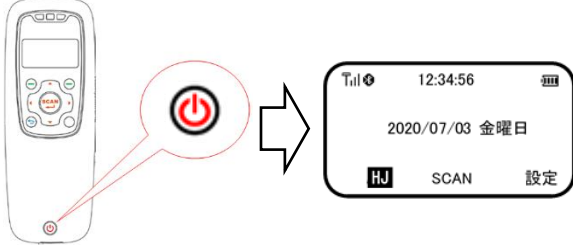
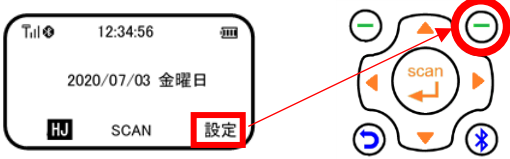
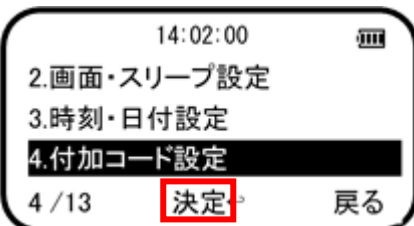
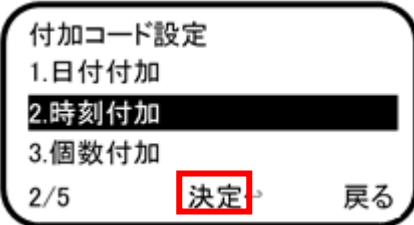
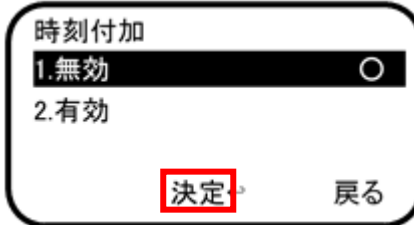
日付付加の「無効」／「有効」の指定は、以下の操作で行います。

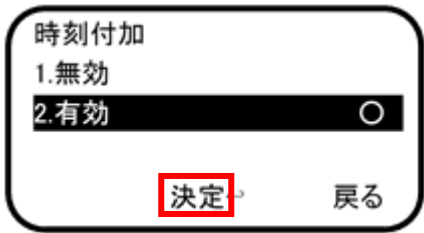
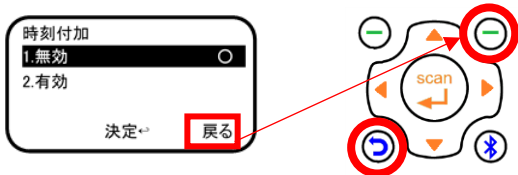
項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「4. 付加コード設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、付加コード設定画面を表示します	
4.	付加コード設定画面で「1. 日付付加」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、日付付加画面を表示します	
5.	a) 無効にする 日付付加画面で「1. 無効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	

項番	説明	画面
6.	b) 有効にする 日付付加画面で「2. 有効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します ※付加する個数の記録順については「<u>5.4(6)各種付加データの記録順について</u>」を参照してください	
7.	日付付加画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと、付加コード設定画面に戻ります	

(2) 時刻付加

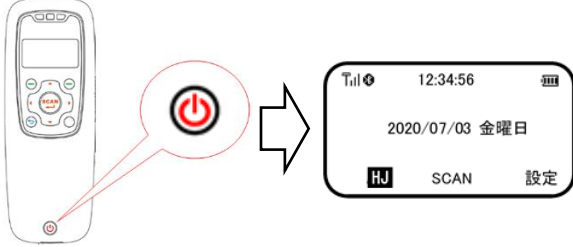
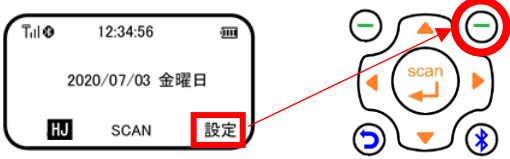
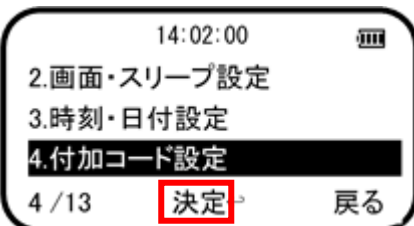
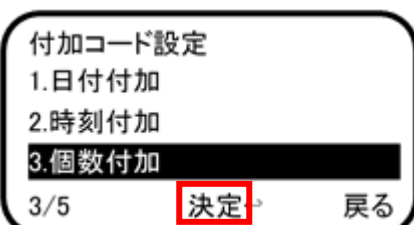
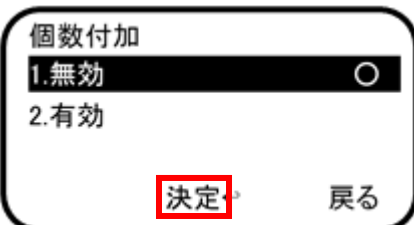
時刻付加の「無効」／「有効」の指定は、以下の操作で行います。

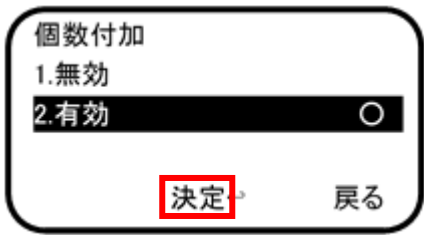
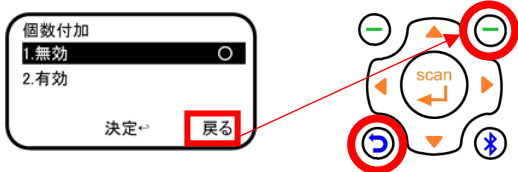
項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「4. 付加コード設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、付加コード設定画面を表示します	
4.	付加コード設定画面で「2. 時刻付加」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、時刻付加画面を表示します	
5.	a) 無効にする 時刻付加画面で「1.無効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	

項番	説明	画面
6.	b) 有効にする 時刻付加画面で「2.有効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します ※付加する個数の記録順については「<u>5.4(6)各種付加データの記録順について</u>」を参照してください	
7.	時刻付加画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと、付加コード設定画面に戻ります	

(3) 個数付加

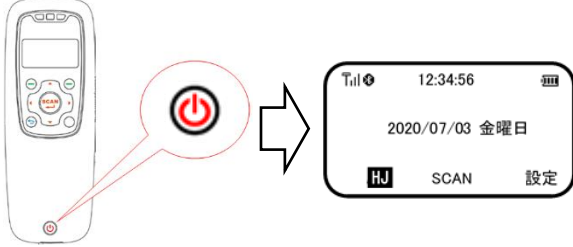
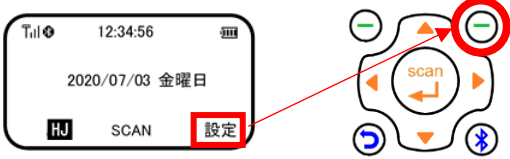
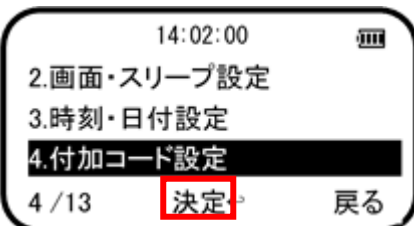
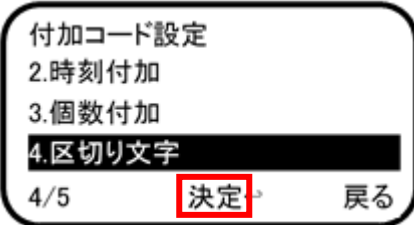
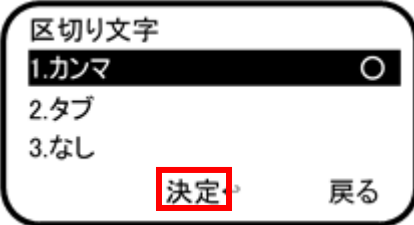
個数付加の「無効」／「有効」の指定は、以下の操作で行います。

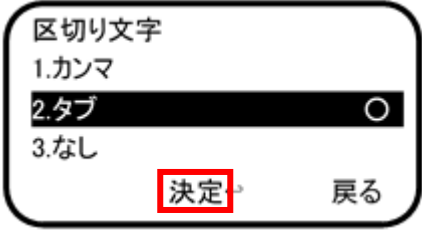
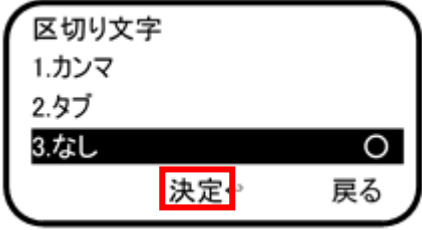
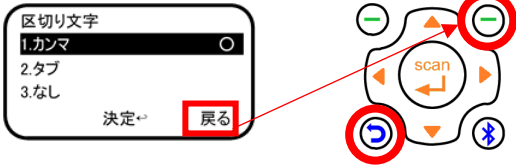
項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「4. 付加コード設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、付加コード設定画面を表示します	
4.	付加コード設定画面で「3. 個数付加」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、個数付加画面を表示します	
5.	a) 無効にする 個数付加画面で「1.無効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	

項番	説明	画面
6.	b) 有効にする 個数付加画面で「2.有効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します ※付加する個数の記録順については「<u>5.4(6)各種付加データの記録順について</u>」を参照してください	
7.	個数付加画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと、付加コード設定画面に戻ります	

(4) 区切り付加

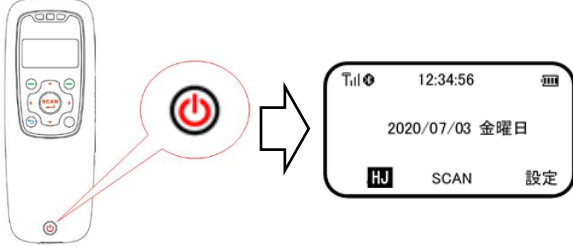
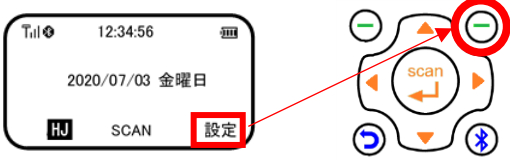
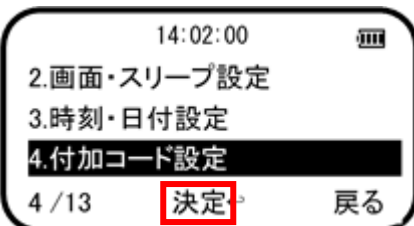
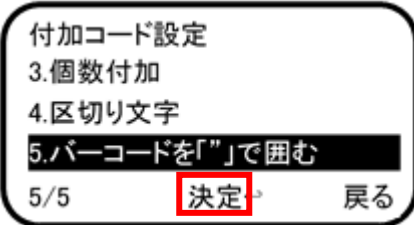
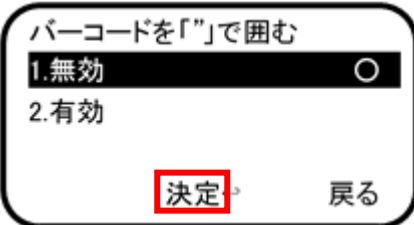
データ付加時に使用する区切り文字の指定は、以下の操作で行います。

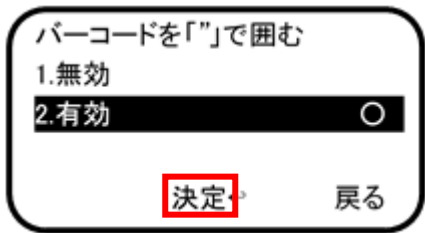
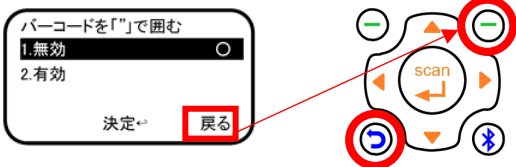
項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「4. 付加コード設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、付加コード設定画面を表示します	
4.	付加コード設定画面で「4. 区切り文字」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、区切り文字画面を表示します	
5.	a) 区切り文字を「カンマ」にする 区切り文字画面で「1.カンマ」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	

項番	説明	画面
6.	b) 区切り文字を「タブ」にする 区切り文字画面で「2.タブ」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
7.	c 区切り文字を付加しない 区切り文字画面で「3.なし」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
8.	区切り文字画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと、付加コード設定画面に戻ります	

(5) バーコードを「”」で囲む

データ送信時にバーコードを「”」で囲むかどうかの指定は、以下の操作で行います。

項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「4. 付加コード設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、付加コード設定画面を表示します	
4.	付加コード設定画面で「5. バーコードを「”」で囲む」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、個数付加画面を表示します	
5.	a) 無効にする バーコードを「”」で囲む画面で「1.無効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	

項番	説明	画面
6.	b) 有効にする バーコードを「”」で囲む画面で「2.有効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
7.	バーコードを「”」で囲む画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと、付加コード設定画面に戻ります	

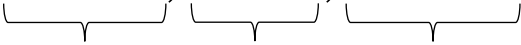
(6) 各種付加データの記録順について

データ送信時に付加可能な各種データの記録順は次のとおりです。

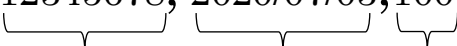
順位	項目名
1.	バーコードデータ
2.	時刻
3.	日付
4.	個数

※付加データは指定されたもののみを送信します。以下に区切り文字に「,(カンマ)」を指定した場合の例を示します。

例 1) 時刻と日付を指定した場合:

12345678,11:40:00,2020/06/03

バーコードデータ 時刻 日付

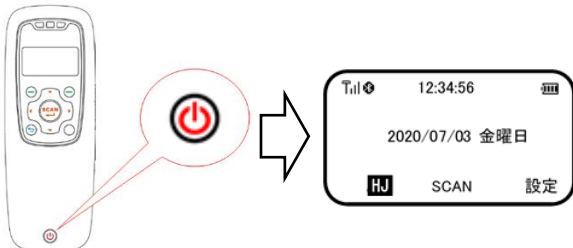
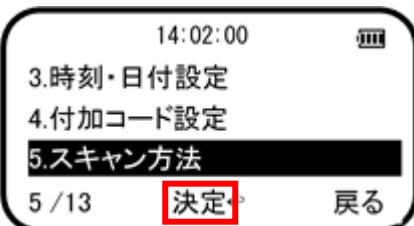
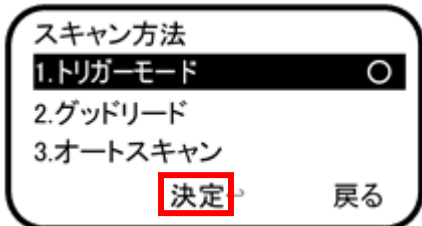
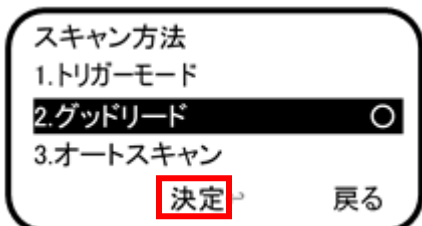
例 2) 日付と個数(100 個)を付加指定した場合:

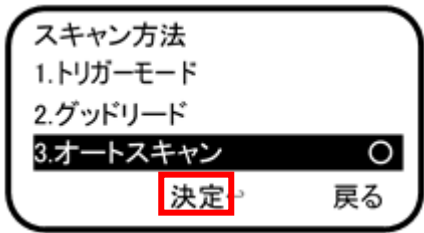
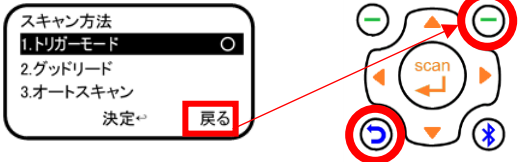
12345678, 2020/07/03,100

バーコードデータ 日付 個数

5.5 スキャン方法

(7) 1D モデルのとき

1D モデルにおけるスキャン方法の設定は、次の操作で行います。

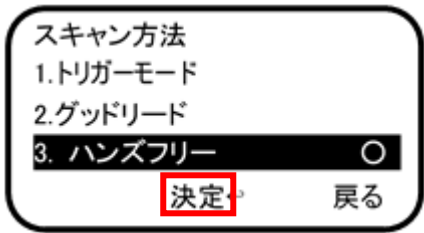
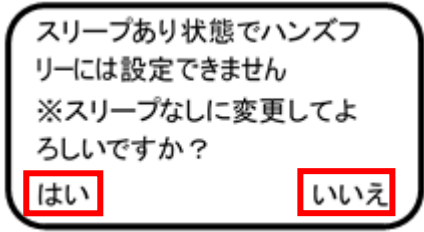
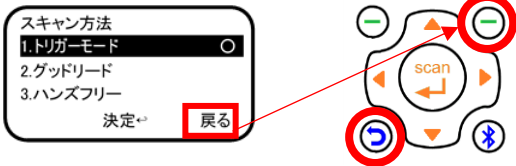
項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「5. スキャン方法」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、スキャン方法画面を表示します	
4.	a) トリガーモードにする スキャン方法画面で「1. トリガーモード」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
5.	b) グッドリードにする スキャン方法画面で「2. グッドリード」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	

項番	説明	画面
6.	c) オートスキャンにする スキャン方法画面で「3. オートスキャン」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
7.	スキャン方法画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと、設定メニューに戻ります	

(8) 2D モデルのとき

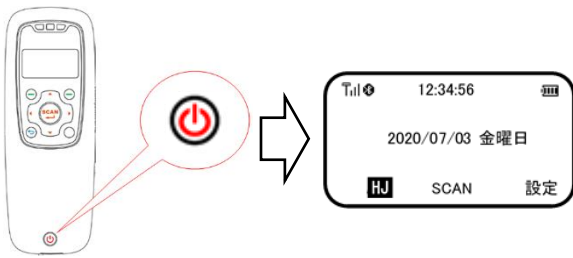
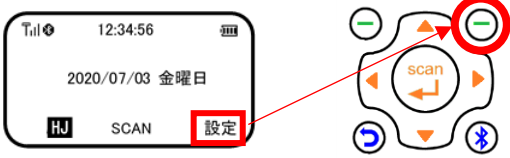
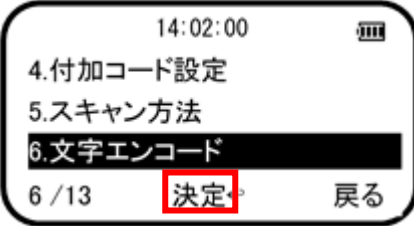
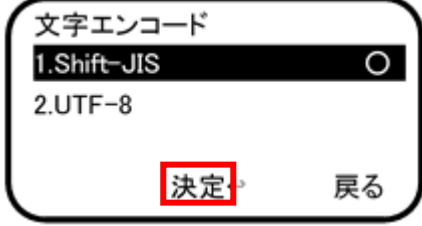
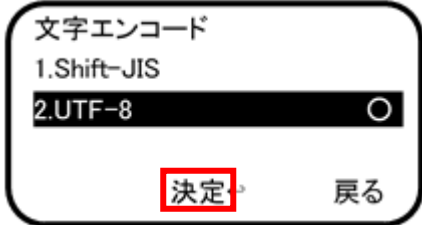
2D モデルにおけるスキャン方法の設定は、次の操作で行います。

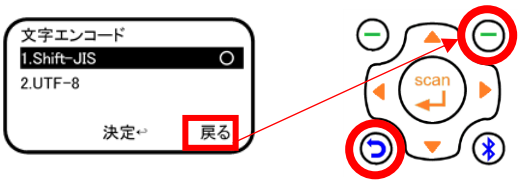
項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「5. スキャン方法」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、スキャン方法画面を表示します	
4.	<u>a) トリガーモードにする</u> スキャン方法画面で「1. トリガーモード」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
5.	<u>b) グッドリードにする</u> スキャン方法画面で「2. グッドリード」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	

項番	説明	画面
6.	c) <u>ハンズフリーにする</u> スキャン方法画面で「3. ハンズフリー」選択後【SCAN】(決定)キーを押します ※注意 ハンズフリーはスリープ「なし」の状態を設定可能です スリープ「なし」でないときはスリープ解除要求メッセージを表示します 【左上】(はい)キーを押すとスリープ「なし」に変更後、ハンズフリーに設定します 【右上】(いいえ)キーを押すとハンズフリー設定を中止します	
		
7.	スキャン方法画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン設定メニューに戻ります	

5.6 文字エンコード

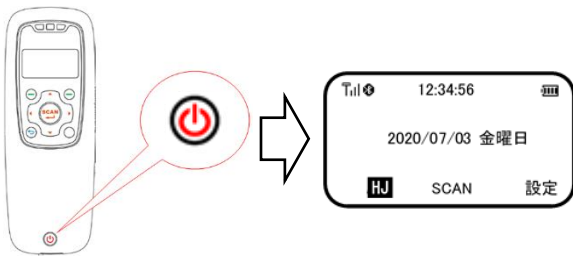
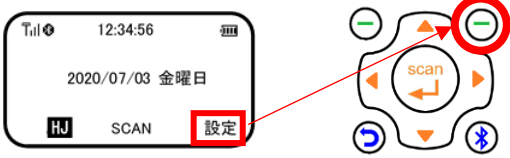
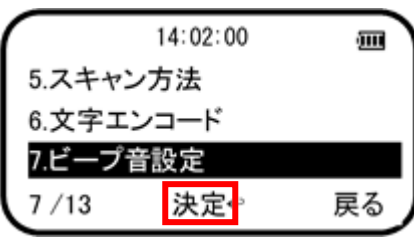
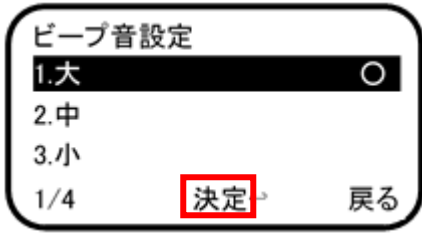
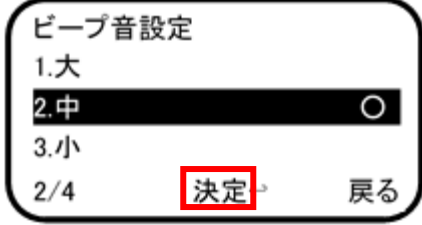
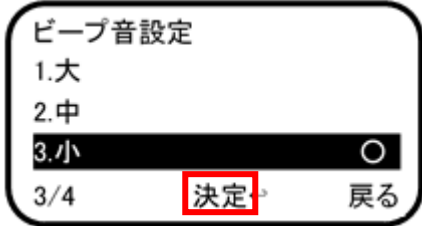
文字エンコード(Shift-JIS／UTF-8)の設定は、次の操作で行います。

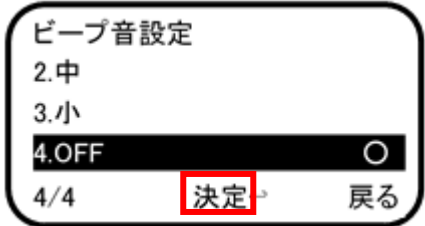
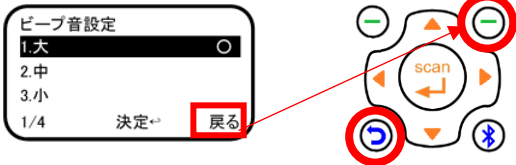
項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「6. 文字エンコード」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、文字エンコード画面を表示します	
4.	a) Shift-JIS にする 文字エンコード画面で「1. Shift-JIS」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
5.	b) UTF-8 にする 文字エンコード画面で【↑】／【↓】キーを使用し「2. UTF-8」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	

項番	説明	画面
6.	文字エンコード画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと、設定メニューに戻ります	

5.7 ビープ音設定

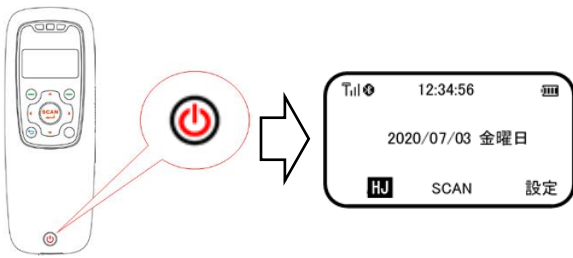
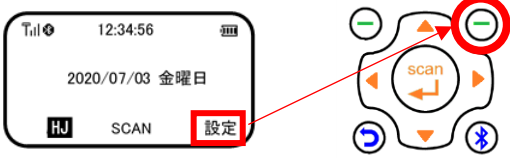
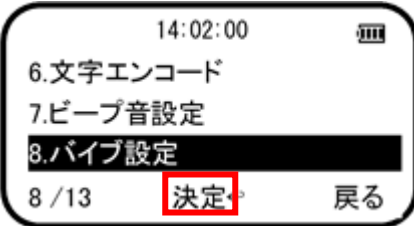
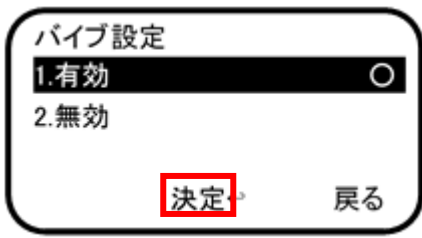
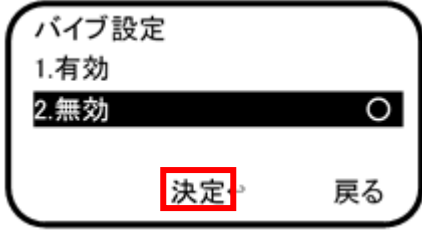
ビープ音の設定は、次の操作で行います。

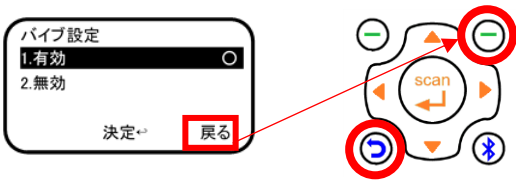
項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「7. ビープ音設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、ビープ音設定画面を表示します	
4.	a) 大にする ビープ音設定画面で「1. 大」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
5.	b) 中にする ビープ音設定画面で「2. 中」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
6.	c) 小にする ビープ音設定画面で「3. 小」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	

項番	説明	画面
7.	<u>d) OFF にする</u> ビープ音設定画面で「4. OFF」選択後【SCAN】（決定）キーを押します	
8.	ビープ音設定画面で【右上】（戻る）キーあるいは【リターン】キーを押すと、設定メニューに戻ります	

5.8 バイブ設定

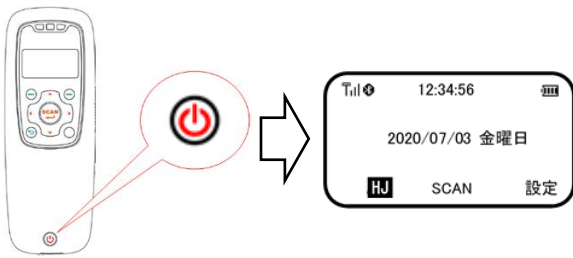
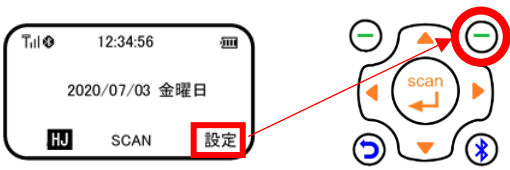
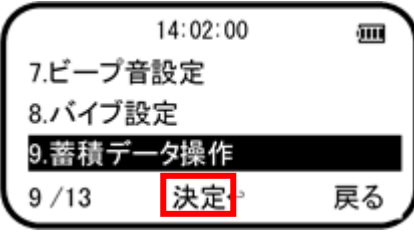
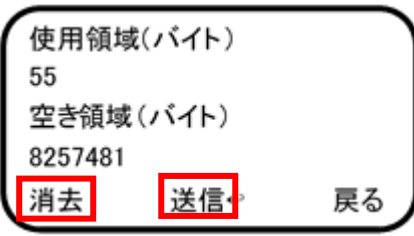
バイブの「有効」／「無効」の設定は、次の操作で行います。

項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「8. バイブ設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、バイブ設定画面を表示します	
4.	a) 有効にする バイブ設定画面で「1. 有効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
5.	b) 無効にする バイブ設定画面で「2. 無効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	

項番	説明	画面
6.	パイプ設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと、設定メニューに戻ります	

5.9 蓄積データ操作

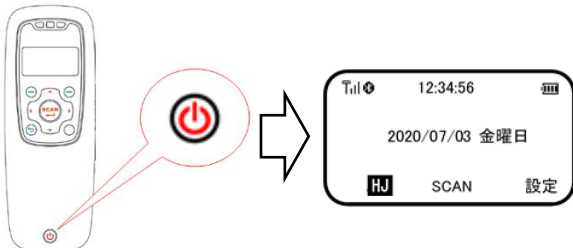
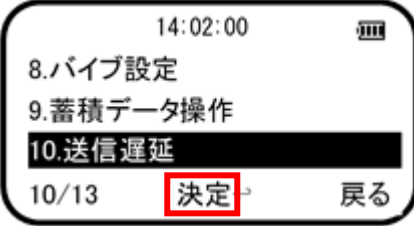
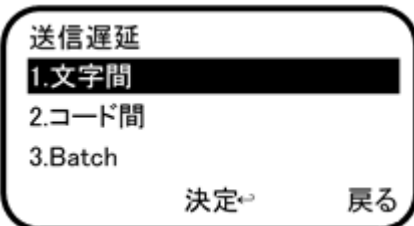
蓄積データの消去や送信方法については、次の操作で行います。

項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「9. 蓄積データ操作」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
4.	蓄積データ使用状況画面を表示します 【左上】(消去)キー押下後の操作については「 <u>5.1.6 (1)蓄積領域使用状況(・使用状況画面から蓄積データを消去)</u> 」を参照してください 【SCAN】(送信)キー押下後の操作については「 <u>5.1.6 (1)蓄積領域使用状況(・使用状況画面から蓄積データを送信)</u> 」を参照してください ※蓄積データが存在しないとき(使用領域が 0 バイトのとき)は、蓄積データ操作を行うための【左上】(消去)キーと【SCAN】(送信)キーを表示しません	

5.10 送信遅延

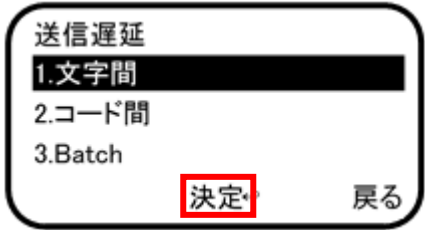
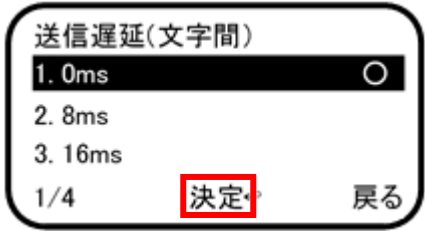
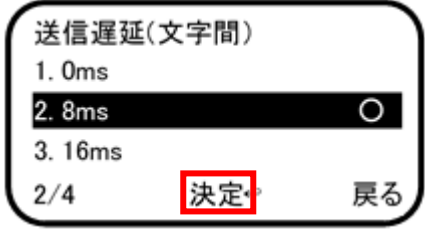
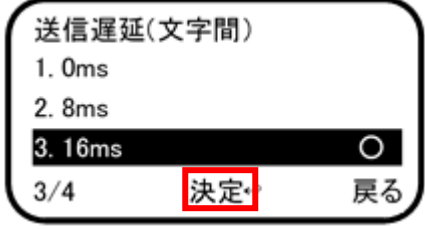
(1) 送信遅延メニュー表示

送信遅延メニューを表示するには、次の操作で行います。

項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「10. 送信遅延」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
4.	送信遅延メニューを表示します	

(2) 送信遅延（文字間）

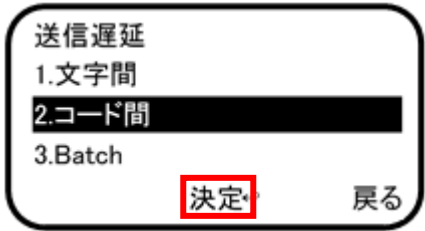
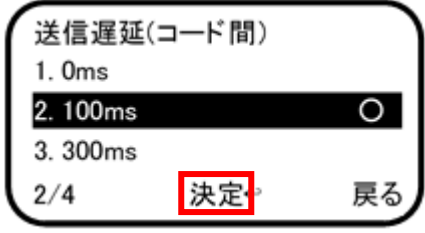
文字間における送信遅延を設定するには次の操作を行ってください。

項番	説明	画面
1.	送信遅延メニューで「 1. 文字間 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します ※送信遅延メニューの表示方法は「(1)送信遅延メニュー表示」を参照してください	
2.	<u>a) 0ms にする</u> 「 1. 0ms 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	<u>b) 8ms にする</u> 「 2. 8ms 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
4.	<u>c) 16ms にする</u> 「 3. 16ms 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	

項番	説明	画面
5.	d) カスタム値にする 「4. カスタム」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
6.	カスタム値入力画面を表示します	
7.	カスタム値入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します ※指定可能なカスタム値は <u>0～99ms</u> です	
8.	e) カスタム値を確定する カスタム値入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、カスタム値を確定し送信遅延(文字間)画面に戻ります	
9.	f) 最後に入力した数字を取り消す カスタム値入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます ※【リターン】キーを押すとカスタム値入力を中止し送信遅延(文字間)画面に戻ります	

(3) 送信遅延（コード間）

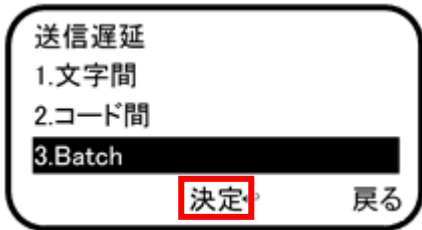
コード間における送信遅延を設定するには次の操作を行ってください。

項番	説明	画面
1.	送信遅延メニューで「 2. コード間 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します ※送信遅延メニュー画面の表示方法は「 <u>(1)送信遅延メニュー表示</u> 」を参照してください	
1.	<u>a) 0ms にする</u> 「 1. 0ms 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
2.	<u>b) 100ms にする</u> 「 2. 100ms 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	<u>c) 300ms にする</u> 「 3. 300ms 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	

項番	説明	画面
4.	d) カスタム値にする 「4. カスタム」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
5.	カスタム値入力画面を表示します	
6.	カスタム値入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します ※指定可能なカスタム値は <u>0～9999ms</u> です	
7.	e) カスタム値を確定する カスタム値入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、カスタム値を確定し送信遅延(コード間)画面に戻ります	
8.	f) 最後に入力した数字を取り消す カスタム値入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます ※【リターン】キーを押すとカスタム値入力を中止し送信遅延(コード間)画面に戻ります	

(4) 送信遅延 (Batch)

蓄積データ送信時における送信遅延を設定するには次の操作を行ってください。

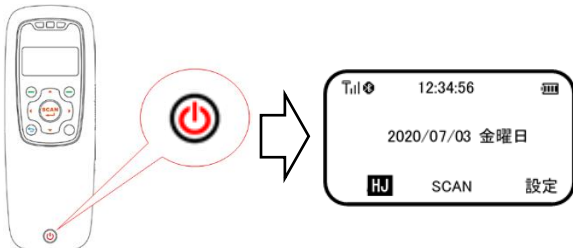
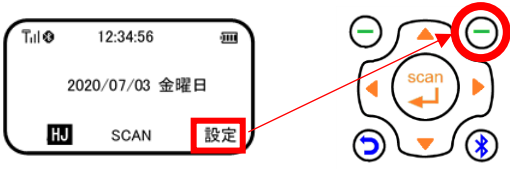
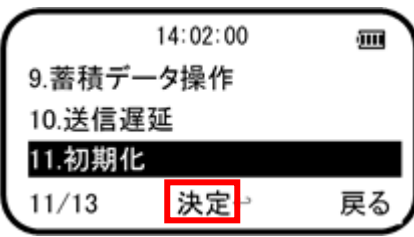
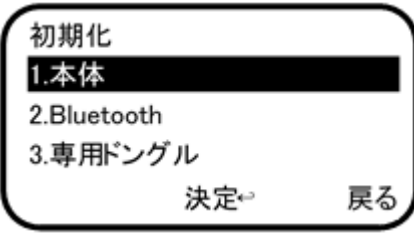
項番	説明	画面
1.	送信遅延メニューで「 3. Batch 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します ※送信遅延メニュー画面の表示方法は「(1)送信遅延メニュー表示」を参照してください	
1.	<u>a) 0ms にする</u> 「 1. 0ms 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
2.	<u>b) 300ms にする</u> 「 2. 100ms 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	<u>c) 500ms にする</u> 「 3. 300ms 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	

項番	説明	画面
4.	d) カスタム値にする 「4. カスタム」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
5.	カスタム値入力画面を表示します	
6.	カスタム値入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します ※指定可能なカスタム値は <u>0～9999ms</u> です	
7.	e) カスタム値を確定する カスタム値入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、カスタム値を確定し送信遅延 (Batch) 画面に戻ります	
8.	f) 最後に入力した数字を取り消す カスタム値入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます ※【リターン】キーを押すとカスタム値入力を中止し送信遅延 (Batch) 画面に戻ります	

5.11 初期化

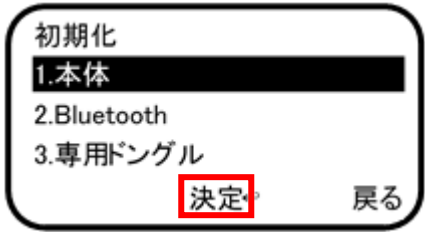
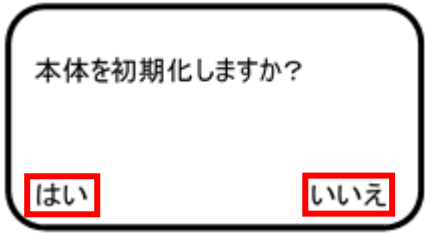
(1) 初期化メニュー表示

初期化メニューを表示するには、次の操作で行います。

項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「11. 初期化」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
4.	初期化メニューを表示します	

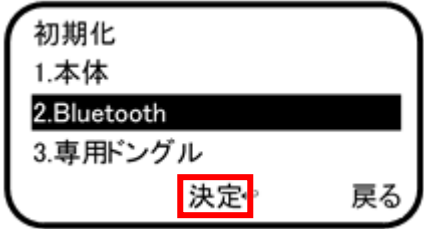
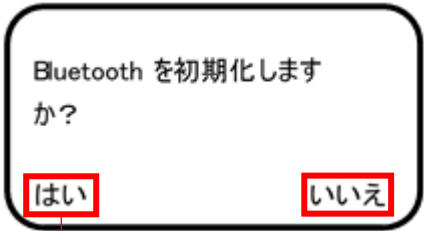
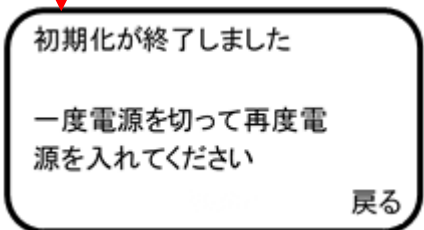
(2) 初期化（本体）

本体を初期化するには次の操作を行ってください。

項番	説明	画面
1.	初期化メニューで「1. 文字間」選択後【SCAN】（決定）キーを押します ※初期化メニューの表示方法は「(1)初期化メニュー表示」を参照してください	
2.	初期化確認画面を表示します 【左上】(はい)キーを押すと、初期化行います 初期化が終了すると初期化メニューに戻ります 【右上】(いいえ)キーを押すと、初期化を中止し 初期化メニューに戻ります	

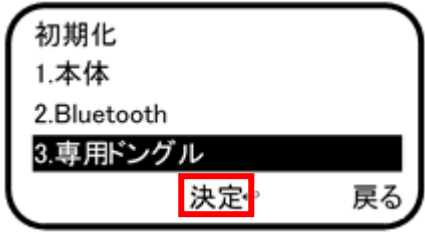
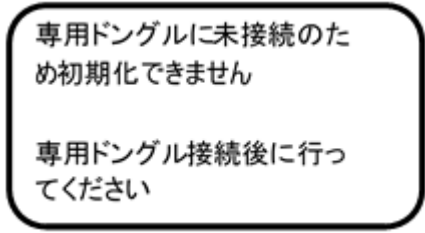
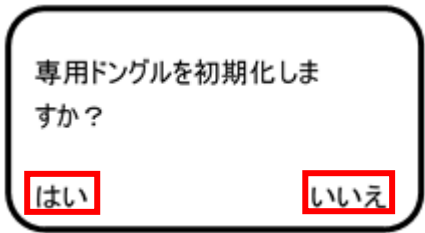
(3) 初期化 (Bluetooth)

Bluetooth を初期化するには次の操作を行ってください。

項番	説明	画面
1.	初期化メニューで「2. Bluetooth」選択後 【SCAN】(決定)キーを押します ※初期化メニューの表示方法は「(1)初期化メニュー表示」を参照してください	
2.	初期化確認画面を表示します 【左上】(はい)キーを押すと、初期化行います 本体再起動要求画面を表示します 【右上】(いいえ)キーを押すと、初期化を中止し 初期化メニューに戻ります	
3.	初期化内容を本体に反映させるため、本体の電源キー長押しで一旦電源を切り、再度本体の電源キー長押しで電源を入れてください	

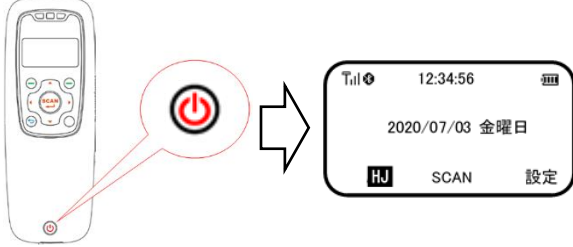
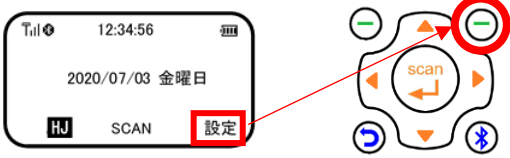
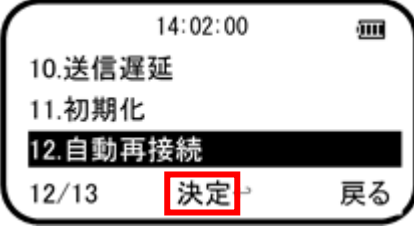
(4) 初期化（専用ドングル）

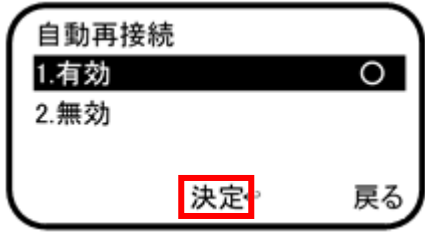
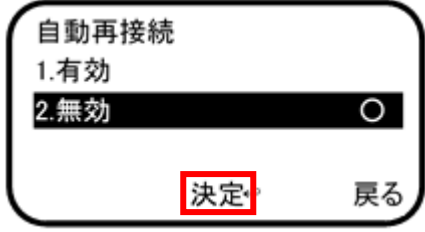
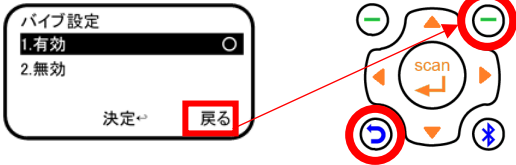
専用ドングルを初期化するには次の操作を行ってください。
専用ドングルの初期化は、専用ドングルに接続した状態で行う必要があります。

項番	説明	画面
1.	初期化メニューで「3. 専用ドングル」選択後 【SCAN】(決定)キーを押します ※初期化メニューの表示方法は「<u>(1)初期化メニュー表示</u>」を参照してください	
2.	・専用ドングルに未接続だったとき 専用ドングルに接続後に初期化するよう要求メッセージを数秒表示後、初期化メニューに戻ります 専用ドングル接続後に、再度初期化操作を行ってください ※専用ドングルに手動で接続する方法については「<u>5.1.3 専用ドングルモード (2)専用ドングルに手動で接続する</u>」を参照してください	
3.	・専用ドングルに接続していたとき 初期化確認画面を表示します 【左上】(はい)キーを押すと、初期化行います 初期化が終了すると初期化メニューに戻ります 【右上】(いいえ)キーを押すと、初期化を中止し 初期化メニューに戻ります	

5.12 自動再接続

Bluetooth 切断状態からの自動再接続の「有効」/「無効」の設定は、次の操作で行います。

項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	 The diagram shows a handheld device with a red circle around the power button. An arrow points from the power button to the scan screen. The scan screen displays the time 12:34:56, the date 2020/07/03 金曜日, and the text HJ SCAN 設定.
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	 The diagram shows the scan screen with the text HJ SCAN 設定. A red box highlights the 設定 (Setting) button. An arrow points from the 設定 button to a circular navigation pad with a red circle around the top-right button.
3.	設定メニューで「12. 自動再接続」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、自動再接続画面を表示します	 The diagram shows the setting menu with the text 10.送信遅延, 11.初期化, 12.自動再接続, and 12/13. A red box highlights the 決定 (Decision) button. An arrow points from the 決定 button to the 12.自動再接続 option.

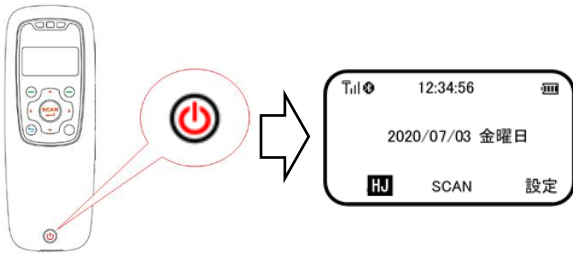
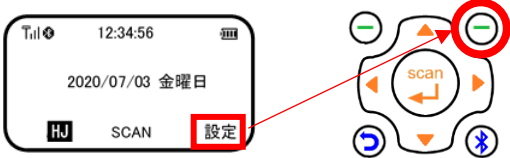
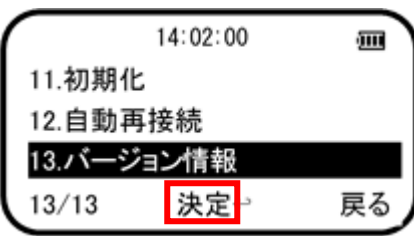
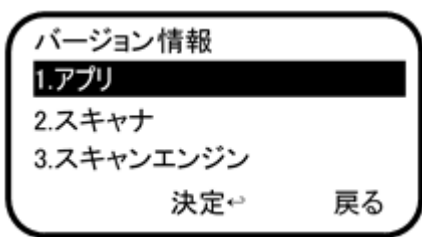
項番	説明	画面
4.	a) 有効にする 自動再接続画面で「1. 有効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
5.	b) 無効にする 自動再接続画面で「2. 無効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
6.	パイプ設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと、設定メニューに戻ります	

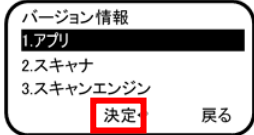
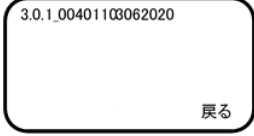
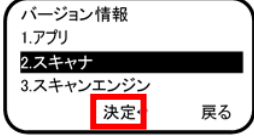
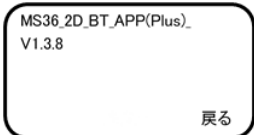
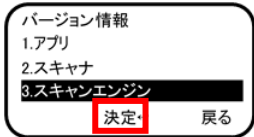
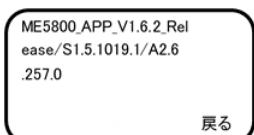
5.13 バージョン情報

本体格納している、アプリ、スキャナ、スキャンエンジン、のバージョン情報を調べることができます。

バージョン情報を通常は意識する必要はありませんが、本体動作不具合発生等の問合せ時に必要となることがあります。

バージョン情報を表示するには、次の操作を行います。

項番	説明	画面
1.	スキャン画面を表示します ※電源断の状態であれば本体の電源キー長押しでスキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で【右上】(設定)キーを押し、設定メニューを表示します	
3.	設定メニューで「13.バージョン情報」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、バージョン情報メニューを表示します	
4.	バージョン情報メニューを表示します ※【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとメインメニューに戻ります	

項番	説明	画面
5.	a) アプリのバージョンを調べる バージョン情報メニューで「1. アプリ」選択後【SCAN】(決定)キーを押すと、バージョン情報画面を表示します	 ※表示例 
6.	b) スキャナのバージョンを調べる バージョン情報メニューで「2. スキャナ」選択後【SCAN】(決定)キーを押すと、バージョン情報画面を表示します	 ※表示例 
7.	c) スキャンエンジンのバージョンを調べる バージョン情報メニューで「3. スキャンエンジン」選択後【SCAN】(決定)キーを押すと、バージョン情報画面を表示します	 ※表示例 
8.	バージョン情報画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとバージョン情報メニューに戻ります	